

【全国版】

18歳人口予測

大学・短期大学・専門学校進学率

地元残留率の動向

【将来予測 2025～2037年】

■ 18歳人口予測 P3～P8

- ・ 2025年110.1万人→2037年91.6万人（18.5万人減少）
- ・ 東北の減少率が高く、6県中4県で減少率25%以上
- ・ 2025年比減少率が高いのは東北（74.7%）、減少数が大きいのは南関東（32,290人減）

【経過推移 2016年～2025年】

■ 進学率（現役・過年度含）の推移 P9～P22

大学進学率（現役）

- ・ 2016年48.4%→2025年58.3%（9.9ポイント上昇）
- ・ 1位 北海道（134.4）、2位 北陸（124.4）、3位 四国（123.3）※注
- ・ 進学率が高いのは、南関東、近畿、東海の三大都市圏

短期大学進学率（現役）

- ・ 2016年4.9%→2025年2.6%（2.3ポイント低下）
- ・ 1位 南関東（41.7）、2位 東海（46.2）、3位 北海道（47.1）※注
- ・ 進学率が高いのは、北陸、甲信越、東北

専門学校進学率（現役）

- ・ 2016年16.0%→2025年14.4%（1.6ポイント低下）
- ・ 低下が大きいのは、1位 四国（83.5）、2位 南関東（83.8）、3位 近畿（88.1）※注
- ・ 進学率が高いのは、北海道、甲信越、九州沖縄

都道府県別進学率（現役・2025年）

- ・ 大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は大分、専門学校進学率1位は新潟・沖縄

大学・短期大学・専門学校進学率（現役・過年度含 比較・2016～2025年）

- ・ 2025年現役と過年度含の進学率の差は大学は0.3ポイント、短期大学は0.1ポイント、専門学校は8.7ポイント（ともに過年度含が高い）

※注）（）内の数値は、2016年を100としたときの2025年の指数

■ 地元残留率の推移 P23～P31

- ・ 大学入学者の地元残留率は、2016年43.7%→2025年45.4%（1.7ポイント上昇）
- ・ 短期大学入学者の地元残留率は、2016年69.0%→2025年71.1%（2.1ポイント上昇）
- ・ 大学入学者の地元残留率1位は愛知（72.5%）
- ・ 短期大学入学者の地元残留率1位は福岡（90.5%）

■ 18歳人口減少率×地元残留率 P32・33

- ・ 大学入学者：都道府県別：2025→2037年
- ・ 短期大学入学者：都道府県別：2025→2037年

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルート リクルート進学総研
<https://souken.shingakunet.com/>

分析・データについて

■分析・データについて

データ元：文部科学省「学校基本調査」

- 18歳人口概算は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。
 - 18歳人口 = 3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数 + 義務教育学校卒業生数 + 特別支援学校（中学部）卒業生数
 - 中学校卒業生数 = 高校生 + フリーター + 就職者 全て含む
- ※2025年度学校基本調査より、特別支援学校の在籍者・卒業生数も対象に含めている。
- 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。
- 表内の「指数」とは、グラフ開始年の値を100とおいた際の値を示す。
- 進学率（現役）とは、進学者数（大学・短期大学・専修学校専門課程（専門学校））÷高等学校卒業生数（全日制・定時制 + 中等教育学校後期課程 + 特別支援学校（高等部））で算出した。
- 残留率とは、自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち、自県内（地元）の高等学校相当の学校出身者の割合（浪人含む）。
- 図表で利用している百分率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、四捨五入の結果で数値の和が100.0にならない場合がある。
- エリア別分析における各エリアに含まれる都道府県については以下の通り。

北海道 : 北海道
 東北 : 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
 北関東 : 茨城、栃木、群馬
 南関東 : 埼玉、千葉、東京、神奈川
 甲信越 : 新潟、山梨、長野
 北陸 : 富山、石川、福井
 東海 : 岐阜、静岡、愛知、三重
 近畿 : 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
 中国 : 鳥取、島根、岡山、広島、山口
 四国 : 徳島、香川、愛媛、高知
 九州沖縄 : 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

【年早見表】

学校基本調査		18歳人口		3年前の中学・中等教育卒業生数
		図表（年）	人数	
確報	学校基本調査公表	2025	1,100,851	（令和4年）2022年 の中学校卒業生+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校+特別支援学校中学部卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2026	1,103,154	（令和5年）2023年 の中学校卒業生+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校+特別支援学校中学部卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2027	1,096,015	（令和6年）2024年 の中学校卒業生+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校+特別支援学校中学部卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2028	1,081,304	（令和7年）2025年 の中学校卒業生+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校+特別支援学校中学部卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2029	1,080,253	（令和7年）2025年 の中学校3年生+中等教育学校前期課程3年生+義務教育学校9年生+特別支援学校中学部3年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2030	1,062,027	（令和7年）2025年 の中学校2年生+中等教育学校前期課程2年生+義務教育学校8年生+特別支援学校中学部2年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2031	1,046,353	（令和7年）2025年 の中学校1年生+中等教育学校前期課程1年生+義務教育学校7年生+特別支援学校中学部1年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2032	1,034,994	（令和7年）2025年 の小学校6年生+義務教育学校6年生+特別支援学校6年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2033	1,024,570	（令和7年）2025年 の小学校5年生+義務教育学校5年生+特別支援学校5年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2034	1,016,052	（令和7年）2025年 の小学校4年生+義務教育学校4年生+特別支援学校4年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2035	980,539	（令和7年）2025年 の小学校3年生+義務教育学校3年生+特別支援学校3年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2036	952,399	（令和7年）2025年 の小学校2年生+義務教育学校2年生+特別支援学校2年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2037	916,335	（令和7年）2025年 の小学校1年生+義務教育学校1年生+特別支援学校1年生の生徒数

■ POINT 1 <18歳人口の減少>

2025年は18歳人口が前年比4万人増加。そのため、2025年～2037年にかけて全都道府県で減少に。12年間での減少幅予測は拡大（11.4pt減⇒16.8pt減）

2025年の18歳人口は、前年比約4万人増の110万人(単年の一時的増加)でした (p.6)。昨年の予測（2024～2036年）では、2024年の18歳人口を指数100とした時の2036年の12年間で変化する指数は▲11.4でしたが、最新の予測（2025～2037年）では▲16.8となり、今後さらに減少が加速する予測です。

都道府県別に見ると、2024～2036年の予測では東京・沖縄の18歳人口は増加予測でしたが、今回（2025～2037年）の予測では増加予測の都道府県が「ゼロ」となり、全国全ての都道府県において減少が進む見通しです(p.5)。但し、2025年は一時的な増加年であるため、来年以降の予測では基準年が変わることで一部都道府県の見通しに変化する可能性もあります。

減少「率」では東北が深刻で、東北6県中4件で25%以上の減少が見込まれます。一方、減少「数」で見ると南関東が最大（▲3.22万人）、次いで近畿（▲3.17万人）、東海（▲2.55万人）となっており、人数では大都市圏がより大きなインパクトを受けることになります。人口減少の問題は地方だけの課題ではなく、マーケットの大きい都市圏までも、大幅な縮小に直面する厳しい局面を迎えます。大学・短大・専門学校にとっては、今後人口減少フェーズに備えた中長期的な改革を一層加速させる必要があります。

■ POINT 2 <進学率の推移>

大学進学率、現役のみは増加も、過年度含むと上昇傾向停滞し、前年比横ばいの58.5%。

大学、短期大学、専門学校の進学率（過年度含）は、これまで大学のみが上昇傾向、短大・専門学校は横ばいまたは低下傾向でした。しかし2025年では、大学進学率は現役では前年比1.1pt増（57.2%→58.3%）ですが、過年度含では横ばい（58.6%）となり、9年続いた増加の動きは停滞しました。

2016～2025年の10年比較で見ると、大学進学率においては現役・既卒の差はわずか0.3ptまで縮小し、浪人層の割合は大幅に縮小し、現役進学が主流となっている状況が読み取れます。

専門学校は、現役進学率が10年前の2016年と比較して低下しています。一方、既卒・社会人を含む過年度含では微増しており、特に2016年との比較では、大学が7.1Pt増加していますが、専門学校も1pt増加しています。これは専門学校は高卒直後の18歳だけでなく、社会人や大学からの進路変更者など多様な層を取り込んでいることを示しています。従来の18歳だけでなく、社会人の学び直しや、通信教育課程の拡大、留学生の増加等、高等教育市場は大きく動いています。各高等教育機関はこうした変化を踏まえ、対象とする学生層の再定義とそれに応じた募集戦略の見直しが求められます。

進学率の推移（過年度含）

	昨年比（2024→2025）	10年比（2016→2025）
大学	0	7.1pt増
短期大学	0.4pt減	2.2pt減
専門学校	0.7pt減	1pt増

※詳細はp.14-15を参照



リクルート 進学総研所長
カレッジマネジメント編集長
小林 浩

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（男女別：全国：2025～2037年）

■男女ともに13年間で約16%の減少

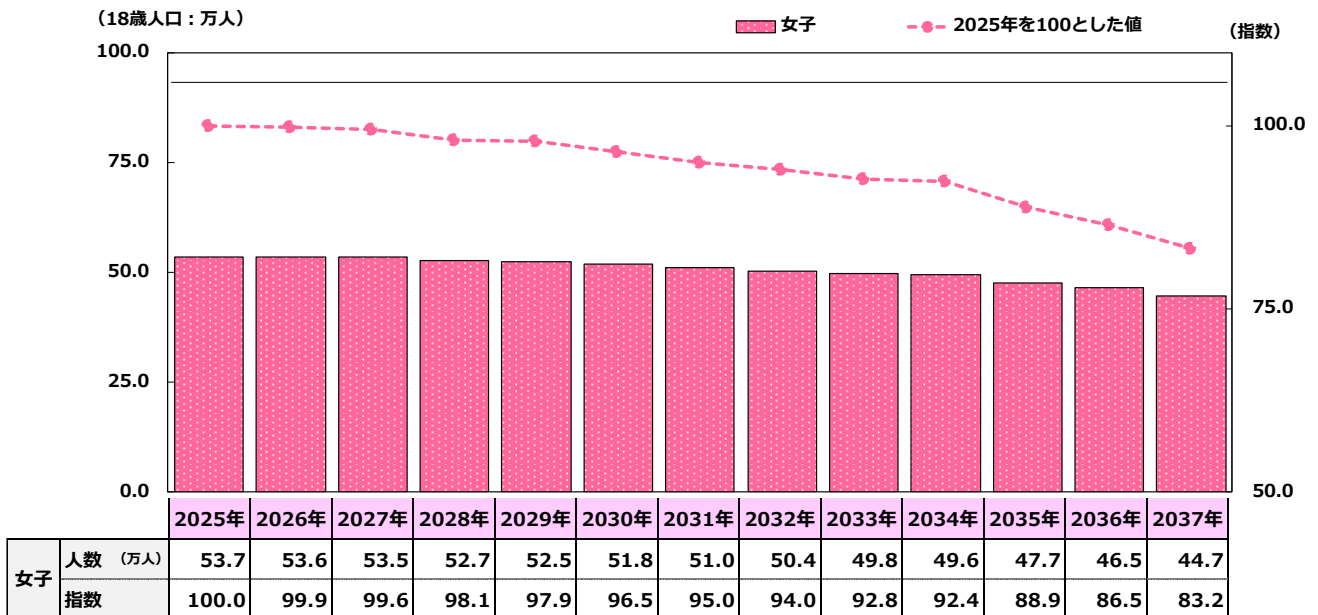
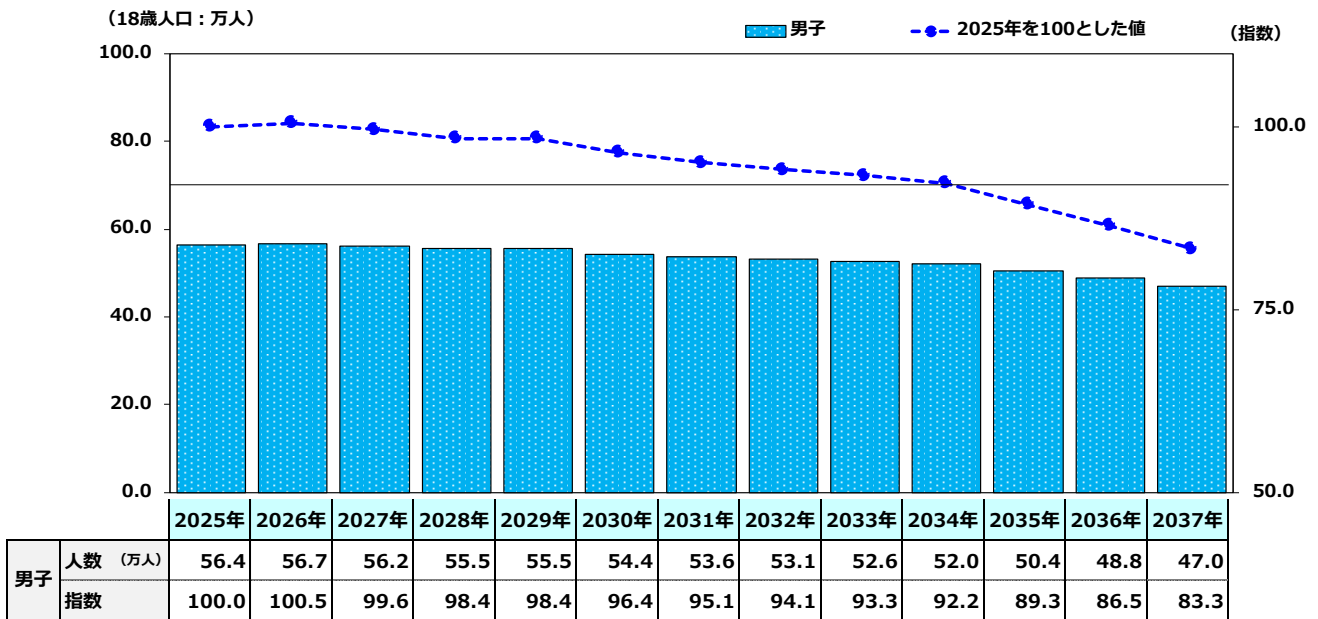
減少のスピード・時期は男女差がほとんどない。

男子

- ・2025年56.4万人から2037年47.0万人、13年間で9.4万人減少。
- ・2026年で増加に転じるが、2027年から再び減少傾向となり、2037年までに9.2万人減少している。

女子

- ・2025年53.7万人から2037年44.7万人、13年間で9.0万人減少。
- ・2027年まではほぼ横ばいが続くが、2028年から2037年にかけて8.0万人減少している。

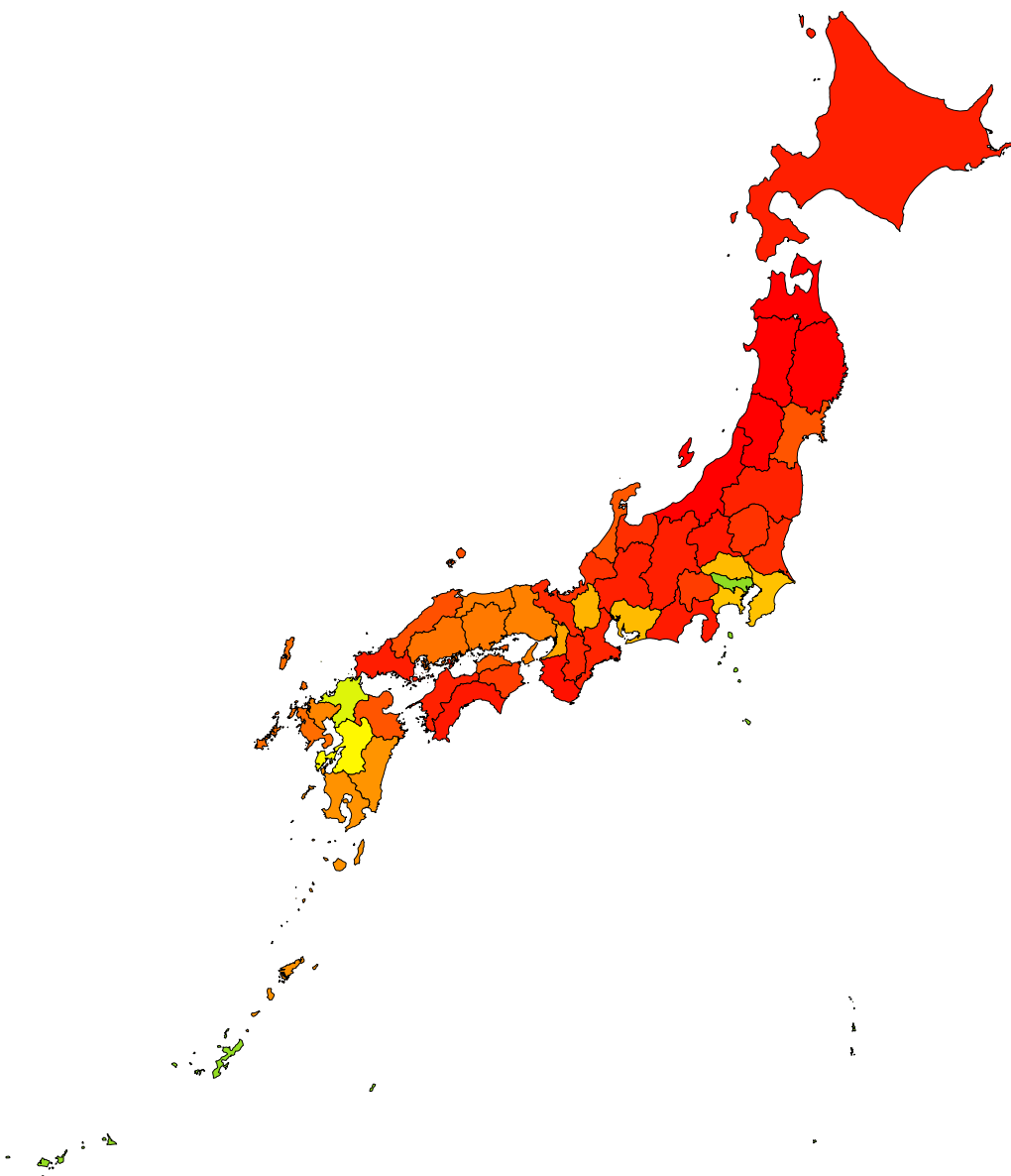
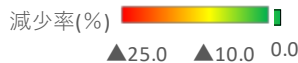


※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（全体：都道府県別：2025～2037年）

■ 増加する都道府県はない。地域別では東北の減少率が高く、6県中4県で減少率25%以上。特に秋田は33.7%と減少率が高く、全国で唯一30%以上。
-10%以下は東京・沖縄、福岡の3都県のみ。

単位 (%)	
全国	▲16.8
-20.0以下	▲33.7
	▲29.4
	▲28.2
	▲25.8
	▲25.0
	▲24.0
	▲23.6
	▲23.6
	▲23.4
	▲23.3
	▲23.2
	▲23.2
	▲23.1
	▲23.0
	▲23.0
	▲22.9
	▲22.7
	▲22.5
	▲22.3
	▲22.3
	▲22.0
	▲22.0
	▲21.4
	▲21.4
	▲20.3
	▲20.0
	▲20.0
-15.0以下	▲19.8
	▲19.5
	▲18.6
	▲18.3
	▲17.9
	▲17.7
	▲17.4
	▲17.1
	▲16.4
	▲16.3
	▲15.2
-10.0以下	▲14.4
	▲14.0
	▲14.0
	▲13.6
	▲13.4
	▲10.4
- 5.0以下	▲ 8.7
	▲ 5.8
	▲ 5.6



提供元: Bing
© GeoNames, Microsoft, Zenrin

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

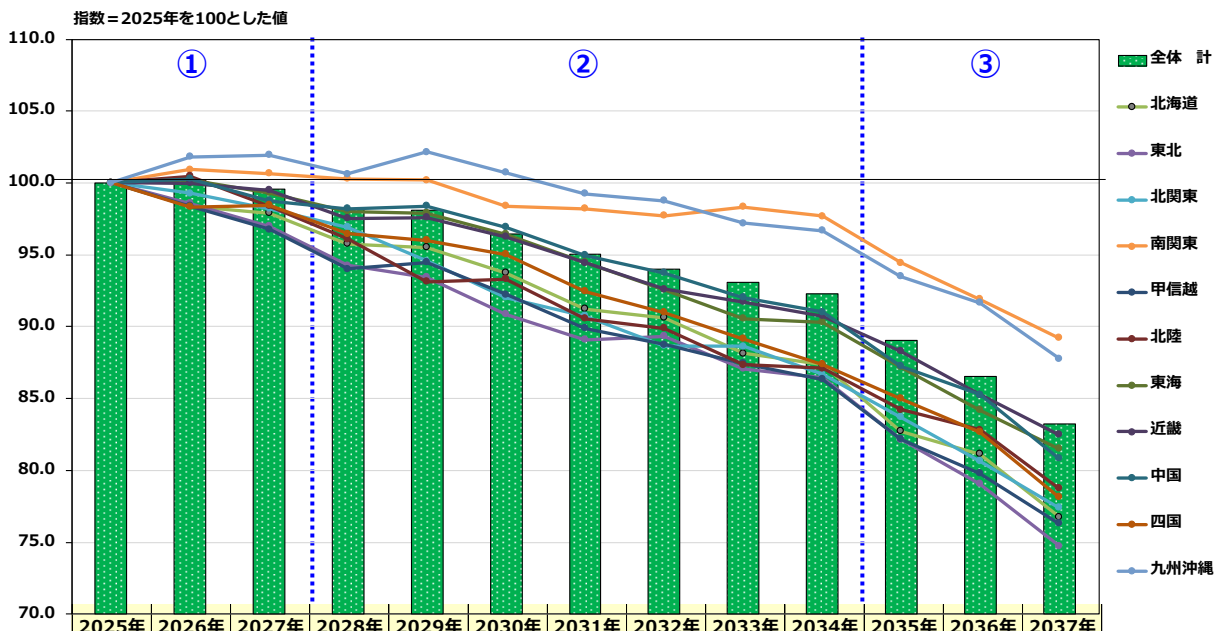
18歳人口予測（全体：エリア別：2025～2037年）

■減少率が高いのは東北（2025年比74.7%）、減少数が大きいのは南関東（32,290人減）

- ・減少率が高いのは、1位 東北（2025年比74.7%）、2位 甲信越（76.3%）、3位 北海道（76.8%）。
- ・減少数が大きいのは、1位 南関東（32,290人減）、2位 近畿（31,784人減）、3位 東海（25,598人減）。
- ・減少率が低いのは、1位 南関東（89.2%）、2位 九州沖縄（87.8%）、3位 近畿（82.5%）。
- ・エリア別の18歳人口は、以下の3段階を経て減少する。

- ① 2025～2027年：全国で110万人前後で横ばいが続く時期
- ② 2028～2034年：1～2万人程度減少する時期
- ③ 2035～2037年：3～4万人と大きく減少する時期

注) 減少率 = 2037年人数 ÷ 2025年人数で算出。



		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年
全体 計	人数	1,100,851	1,103,154	1,096,015	1,081,304	1,080,253	1,062,027	1,046,353	1,034,994	1,024,570	1,016,052	980,539	952,399	916,335
	指数	100.0	100.2	99.6	98.2	98.1	96.5	95.0	94.0	93.1	92.3	89.1	86.5	83.2
北海道	人数	42,164	41,479	41,272	40,366	40,270	39,528	38,465	38,202	37,161	36,830	34,881	34,201	32,365
	指数	100.0	98.4	97.9	95.7	95.5	93.7	91.2	90.6	88.1	87.3	82.7	81.1	76.8
東北	人数	73,778	72,737	71,533	69,539	68,945	67,029	65,715	65,897	64,247	63,781	60,605	58,319	55,139
	指数	100.0	98.6	97.0	94.3	93.4	90.9	89.1	89.3	87.1	86.4	82.1	79.0	74.7
北関東	人数	61,360	60,916	60,266	59,479	58,022	56,476	55,673	54,407	54,380	53,176	51,368	49,492	47,496
	指数	100.0	99.3	98.2	96.9	94.6	92.0	90.7	88.7	88.6	86.7	83.7	80.7	77.4
南関東	人数	299,060	301,848	301,017	299,901	299,644	294,250	293,622	292,190	294,036	292,110	282,435	274,801	266,770
	指数	100.0	100.9	100.7	100.3	100.2	98.4	98.2	97.7	98.3	97.7	94.4	91.9	89.2
甲信越	人数	45,278	44,551	43,812	42,564	42,772	41,761	40,689	40,184	39,586	39,091	37,207	36,118	34,549
	指数	100.0	98.4	96.8	94.0	94.5	92.2	89.9	88.7	87.4	86.3	82.2	79.8	76.3
北陸	人数	26,447	26,566	26,023	25,415	24,632	24,672	23,953	23,766	23,101	23,034	22,274	21,902	20,824
	指数	100.0	100.4	98.4	96.1	93.1	93.3	90.6	89.9	87.3	87.1	84.2	82.8	78.7
東海	人数	138,440	138,702	137,458	135,685	135,505	133,514	130,763	128,133	125,341	125,000	120,689	116,538	112,842
	指数	100.0	100.2	99.3	98.0	97.9	96.4	94.5	92.6	90.5	90.3	87.2	84.2	81.5
近畿	人数	181,292	181,272	180,331	176,804	176,900	174,459	171,205	167,871	166,241	164,478	160,104	154,567	149,508
	指数	100.0	100.0	99.5	97.5	97.6	96.2	94.4	92.6	91.7	90.7	88.3	85.3	82.5
中国	人数	65,491	65,664	64,672	64,313	64,426	63,459	62,200	61,398	60,256	59,603	57,128	55,843	52,926
	指数	100.0	100.3	98.7	98.2	98.4	96.9	95.0	93.8	92.0	91.0	87.2	85.3	80.8
四国	人数	32,511	31,969	32,002	31,362	31,208	30,885	30,057	29,573	28,981	28,399	27,631	26,869	25,405
	指数	100.0	98.3	98.4	96.5	96.0	95.0	92.5	91.0	89.1	87.4	85.0	82.6	78.1
九州沖縄	人数	135,030	137,450	137,629	135,876	137,929	135,994	134,011	133,373	131,240	130,550	126,217	123,749	118,511
	指数	100.0	101.8	101.9	100.6	102.1	100.7	99.2	98.8	97.2	96.7	93.5	91.6	87.8

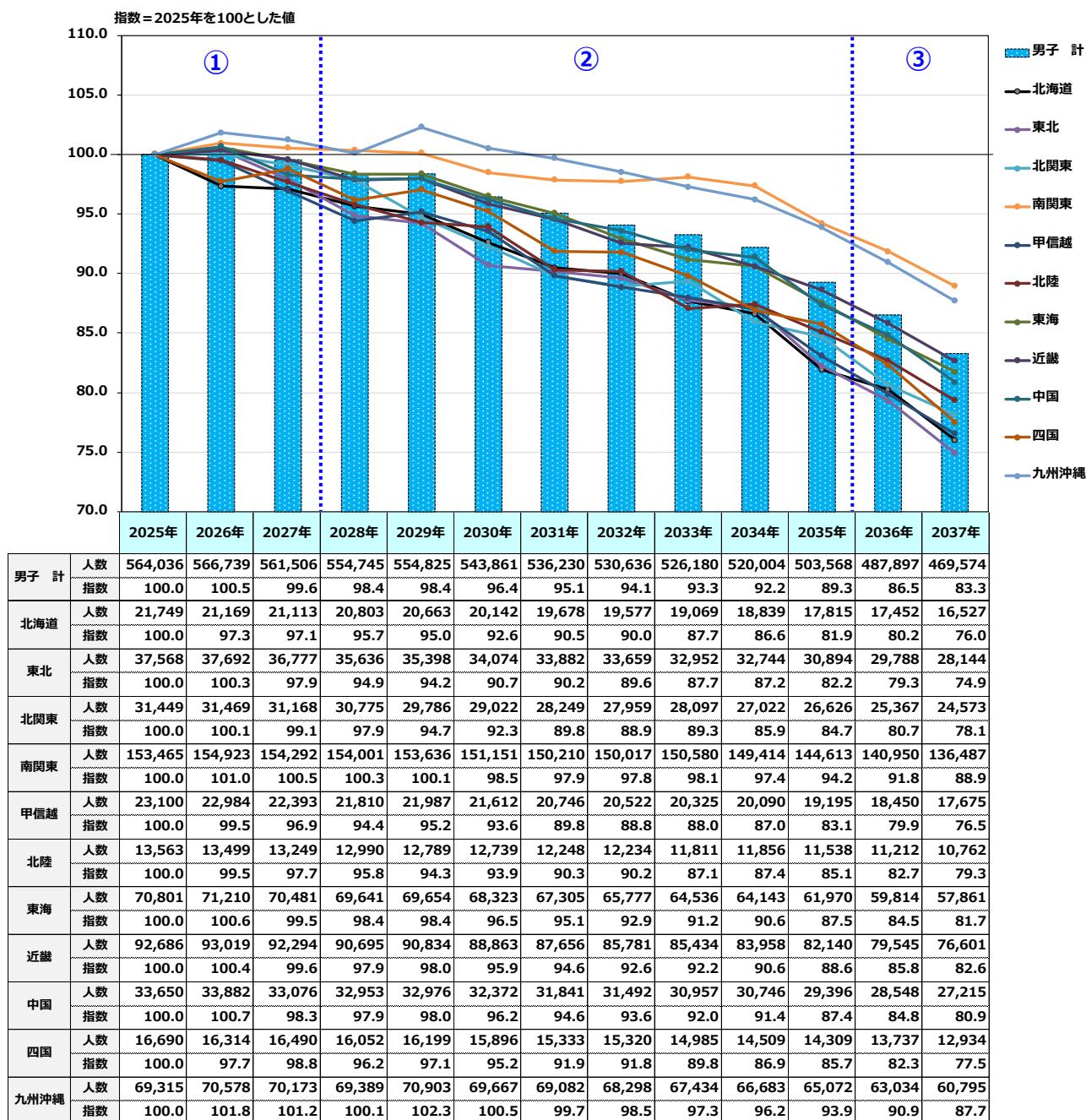
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（男子：エリア別：2025～2037年）

■減少率が高いのは東北（2025年比74.9%）、減少数が大きいのは南関東（16,978人減）

- ・減少率が高いのは、1位 東北（2025年比74.9%）、2位 北海道（76.0%）、3位 甲信越（76.5%）。
- ・減少数が大きいのは、1位 南関東（16,978人減）、2位 近畿（16,085人減）、3位 東海（12,940人減）。
- ・減少率が低いのは、1位 南関東（88.9%）、2位 九州沖縄（87.7%）、3位 近畿（82.6%）。
- ・②③期において2028～2037年の男子人口は、北海道（4,276人減）、東北（7,492人減）、北関東（6,202人減）、南関東（17,514人減）、甲信越（4,135人減）、北陸（2,228人減）、東海（11,780人減）、近畿（14,094人減）、中国（5,738人減）、四国（3,118人減）、九州沖縄（8,594人減）。

注) 減少率 = 2037年人数 ÷ 2025年人数で算出。



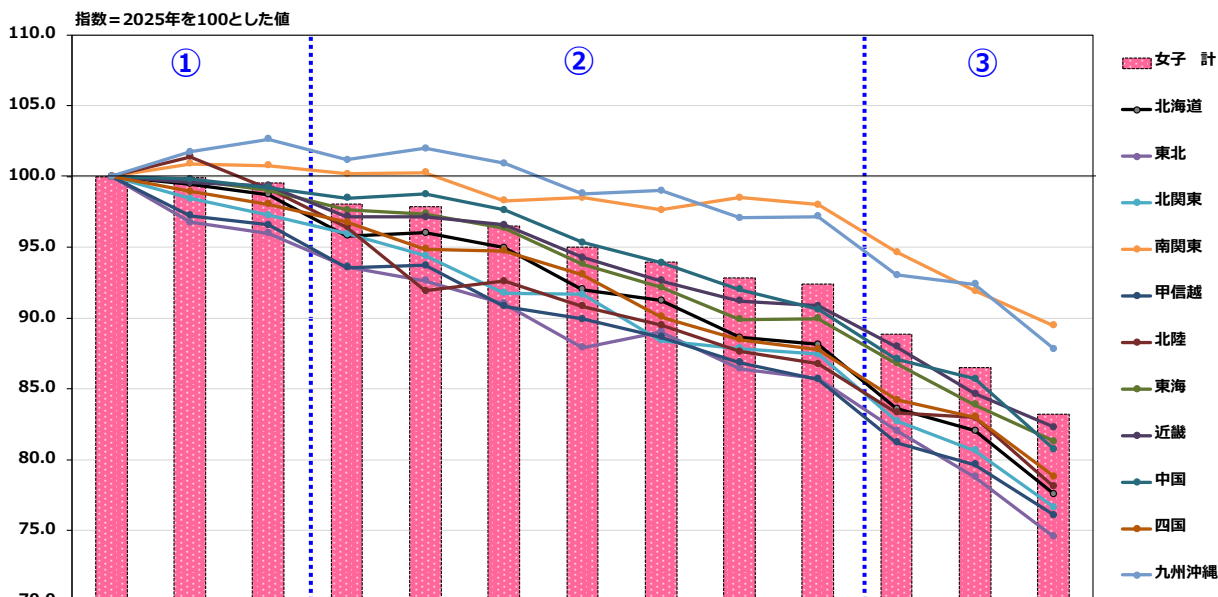
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（女子：エリア別：2025～2037年）

■減少率が高いのは東北（2025年比74.6%）、減少数が大きいのは近畿（15,699人減）

- ・減少率が高いのは、1位 東北（2025年比74.6%）、2位 甲信越（76.1%）、3位 北関東（76.6%）。
- ・減少数が大きいのは、1位 近畿（15,699人減）、2位 南関東（15,312人減）、3位 東海（12,658人減）。
- ・減少率が低いのは、1位 南関東（89.5%）、2位 九州沖縄（87.8%）、3位 近畿（82.3%）。
- ・②③期において2028年～2037年の女子人口は、北海道（3,725人減）、東北（6,908人減）、北関東（5,781人減）、南関東（15,617人減）、甲信越（3,880人減）、北陸（2,363人減）、東海（11,063人減）、近畿（13,202人減）、中国（5,649人減）、四国（2,839人減）、九州沖縄（8,771人減）。

注）減少率=2037年人数÷2025年人数で算出。



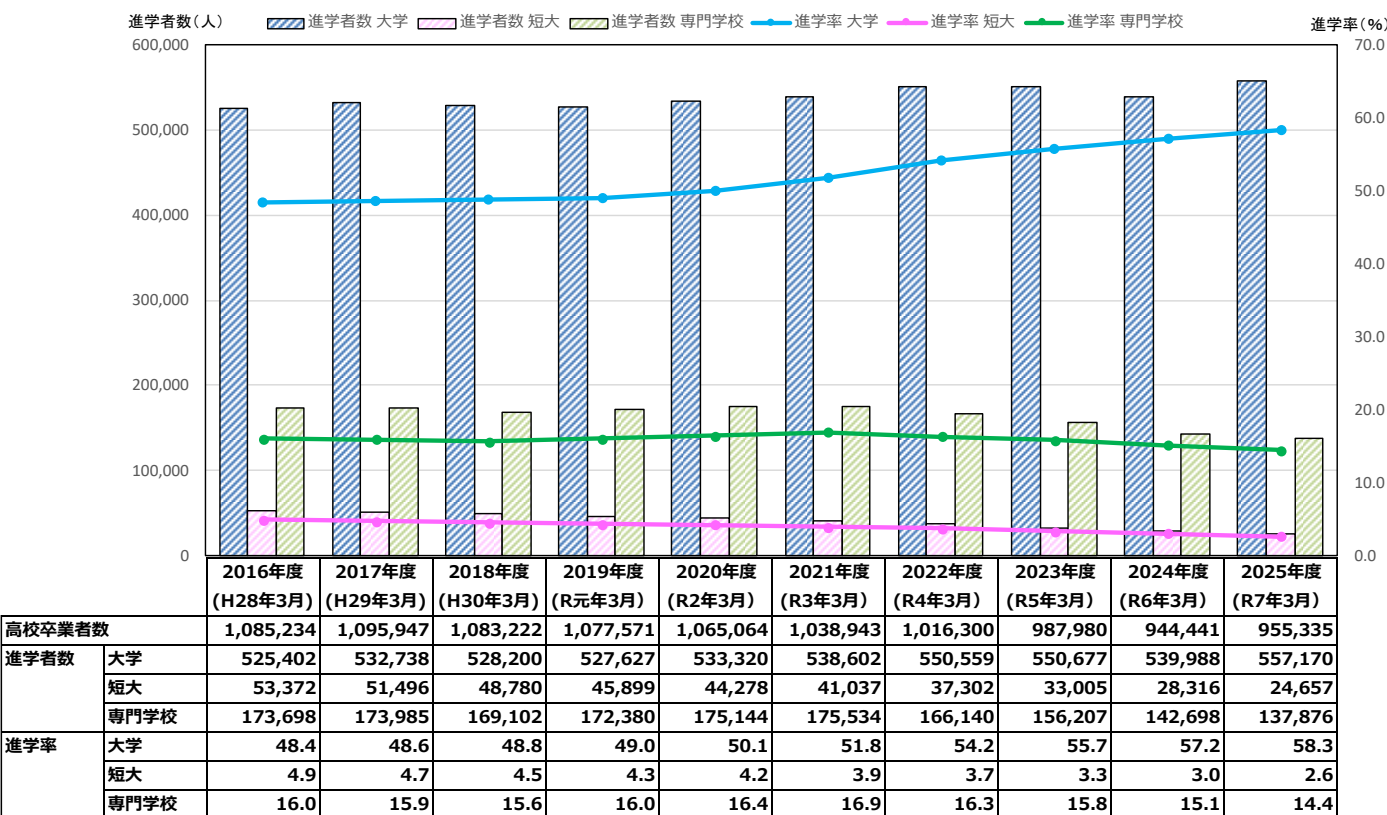
		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年
女子 計	人数	536,815	536,415	534,509	526,559	525,428	518,166	510,123	504,358	498,390	496,048	476,971	464,502	446,761
	指数	100.0	99.9	99.6	98.1	97.9	96.5	95.0	94.0	92.8	92.4	88.9	86.5	83.2
北海道	人数	20,415	20,310	20,159	19,563	19,607	19,386	18,787	18,625	18,092	17,991	17,066	16,749	15,838
	指数	100.0	99.5	98.7	95.8	96.0	95.0	92.0	91.2	88.6	88.1	83.6	82.0	77.6
東北	人数	36,210	35,045	34,756	33,903	33,547	32,955	31,833	32,238	31,295	31,037	29,711	28,531	26,995
	指数	100.0	96.8	96.0	93.6	92.6	91.0	87.9	89.0	86.4	85.7	82.1	78.8	74.6
北関東	人数	29,911	29,447	29,098	28,704	28,236	27,454	27,424	26,448	26,283	26,154	24,742	24,125	22,923
	指数	100.0	98.4	97.3	96.0	94.4	91.8	91.7	88.4	87.9	87.4	82.7	80.7	76.6
南関東	人数	145,595	146,925	146,725	145,900	146,008	143,099	143,412	142,173	143,456	142,696	137,822	133,851	130,283
	指数	100.0	100.9	100.8	100.2	100.3	98.3	98.5	97.6	98.5	98.0	94.7	91.9	89.5
甲信越	人数	22,178	21,567	21,419	20,754	20,785	20,149	19,943	19,662	19,261	19,001	18,012	17,668	16,874
	指数	100.0	97.2	96.6	93.6	93.7	90.9	89.9	88.7	86.8	85.7	81.2	79.7	76.1
北陸	人数	12,884	13,067	12,774	12,425	11,843	11,933	11,705	11,532	11,290	11,178	10,736	10,690	10,062
	指数	100.0	101.4	99.1	96.4	91.9	92.6	90.8	89.5	87.6	86.8	83.3	83.0	78.1
東海	人数	67,639	67,492	66,977	66,044	65,851	65,191	63,458	62,356	60,805	60,857	58,719	56,724	54,981
	指数	100.0	99.8	99.0	97.6	97.4	96.4	93.8	92.2	89.9	90.0	86.8	83.9	81.3
近畿	人数	88,606	88,253	88,037	86,109	86,066	85,596	83,549	82,090	80,807	80,520	77,964	75,022	72,907
	指数	100.0	99.6	99.4	97.2	97.1	96.6	94.3	92.6	91.2	90.9	88.0	84.7	82.3
中国	人数	31,841	31,782	31,596	31,360	31,450	31,087	30,359	29,906	29,299	28,857	27,732	27,295	25,711
	指数	100.0	99.8	99.2	98.5	98.8	97.6	95.3	93.9	92.0	90.6	87.1	85.7	80.7
四国	人数	15,821	15,655	15,512	15,310	15,009	14,989	14,724	14,253	13,996	13,890	13,322	13,132	12,471
	指数	100.0	99.0	98.0	96.8	94.9	94.7	93.1	90.1	88.5	87.8	84.2	83.0	78.8
九州沖縄	人数	65,715	66,872	67,456	66,487	67,026	66,327	64,929	65,075	63,806	63,867	61,145	60,715	57,716
	指数	100.0	101.8	102.6	101.2	102.0	100.9	98.8	99.0	97.1	97.2	93.0	92.4	87.8

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

高校卒業生数と進学率の推移

■ 大学進学率は引き続き上昇傾向。進学者数は2023年以来2年ぶりに55万人を超えて過去最高

- ・ 大学進学率は2016年（48.4%）→2025年58.3%と、10年間で9.9ポイント上昇した。
高校卒業生数の減少が続いているため、大学進学者数は2023年（550,677人）をピークに2024年度は減少したが、2025年は557,170人と再び55万人台に回復して過去最高値を記録。
- ・ 短大進学率は徐々に低下しており、2016年（4.9%）から2025年2.6%となり、進学率は10年間でおよそ半減している。
- ・ 専門学校進学率は2016年（16.0%）から1.6ポイントの減少となり、2025年は14.4%。
高校卒業生数自体が減少しているため、専門学校進学者数は徐々に減少しており、2025年は14万人を下回っている。



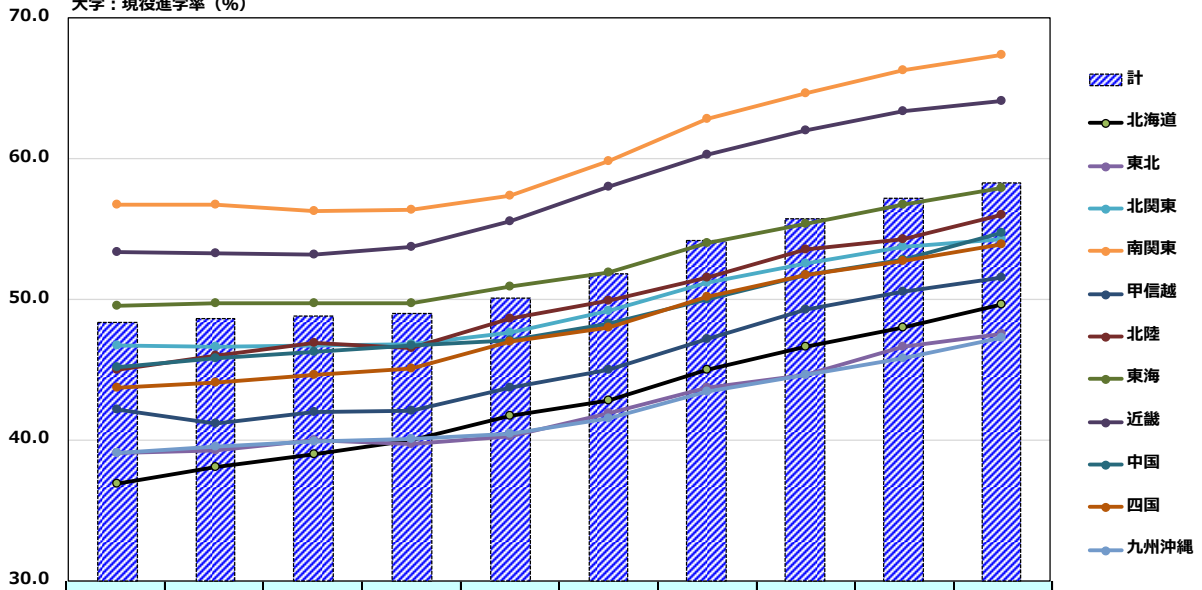
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

大学進学率の推移（現役：エリア別：2016～2025年）

■2016年48.4%→2025年58.3%（9.9ポイント上昇）

- ・全国の大学進学率は48.4%→2025年58.3%と、10年間で9.9ポイント上昇。
- ・2020年から50%台の進学率となり、2023年には55%を超えた。
- ・2016年～2020年（48.4%→50.1%）の5年間に対して、2021年～2025年（51.8%→58.3%）の5年間の進学率が伸びている。
- ・上昇が大きいのは、1位 北海道（134.4）、2位 北陸（124.4）、3位 四国（123.3）。※注
- ・上昇が小さいのは、1位 北関東（116.3）、2位 東海（117.0）、3位 南関東（118.9）。※注
- ・2025年進学率が高いのは、1位 南関東（67.4%）、2位 近畿（64.1%）、3位 東海（57.9%）。

※注（）内は指数=2016年を100として算出
 大学：現役進学率（%）



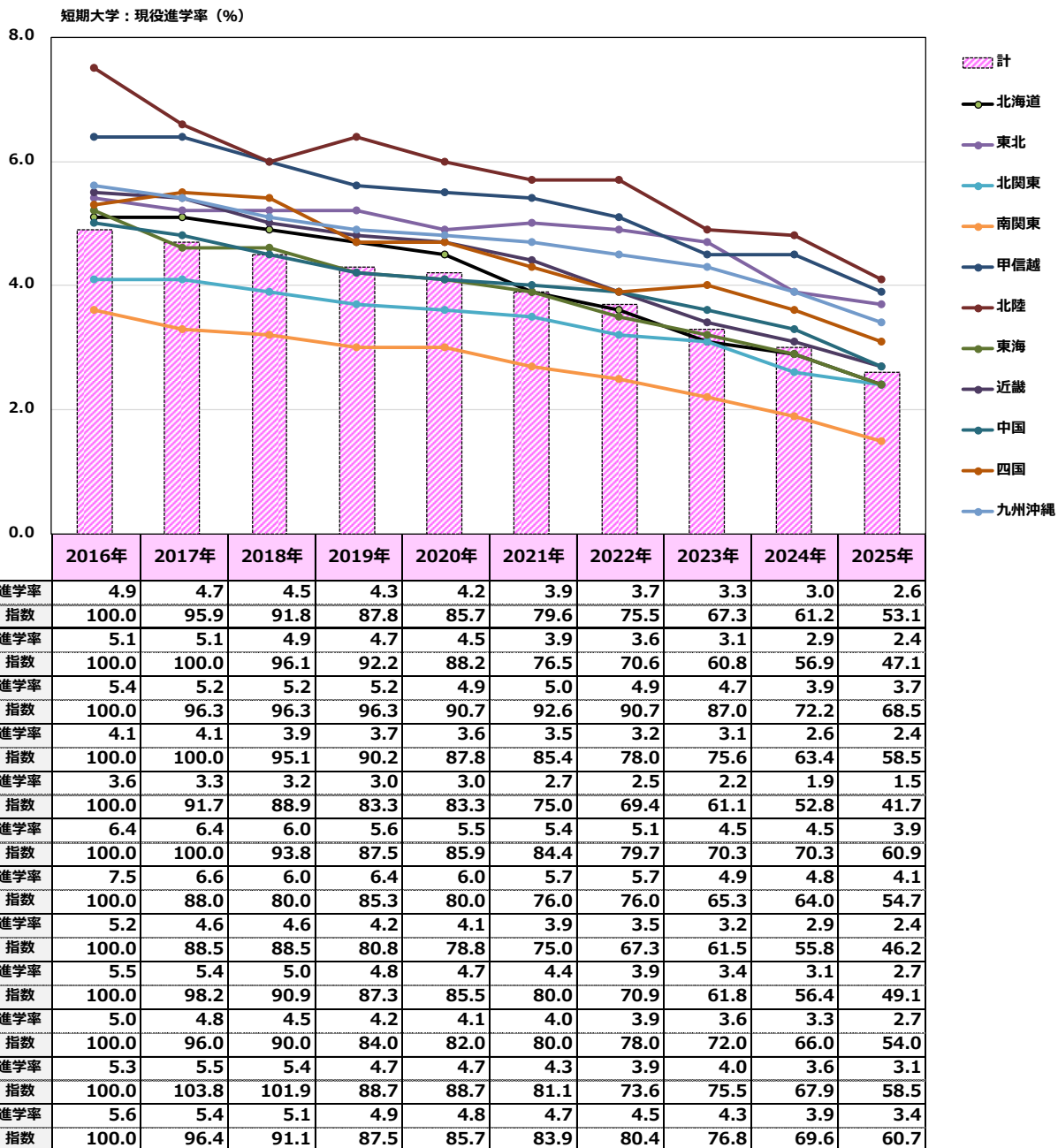
		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
計	進学率	48.4	48.6	48.8	49.0	50.1	51.8	54.2	55.7	57.2	58.3
	指数	100.0	100.4	100.8	101.2	103.5	107.0	112.0	115.1	118.2	120.5
北海道	進学率	36.9	38.1	39.0	40.0	41.7	42.8	45.0	46.6	48.0	49.6
	指数	100.0	103.3	105.7	108.4	113.0	116.0	122.0	126.3	130.1	134.4
東北	進学率	39.1	39.3	40.0	39.7	40.3	41.9	43.7	44.6	46.6	47.5
	指数	100.0	100.5	102.3	101.5	103.1	107.2	111.8	114.1	119.2	121.5
北関東	進学率	46.7	46.6	46.7	46.8	47.6	49.2	51.2	52.5	53.7	54.3
	指数	100.0	99.8	100.0	100.2	101.9	105.4	109.6	112.4	115.0	116.3
南関東	進学率	56.7	56.7	56.3	56.4	57.4	59.8	62.8	64.6	66.3	67.4
	指数	100.0	100.0	99.3	99.5	101.2	105.5	110.8	113.9	116.9	118.9
甲信越	進学率	42.2	41.2	42.0	42.1	43.7	45.0	47.2	49.3	50.5	51.5
	指数	100.0	97.6	99.5	99.8	103.6	106.6	111.8	116.8	119.7	122.0
北陸	進学率	45.0	46.0	46.9	46.5	48.6	49.9	51.5	53.5	54.3	56.0
	指数	100.0	102.2	104.2	103.3	108.0	110.9	114.4	118.9	120.7	124.4
東海	進学率	49.5	49.7	49.7	49.7	50.9	51.9	54.0	55.4	56.7	57.9
	指数	100.0	100.4	100.4	100.4	102.8	104.8	109.1	111.9	114.5	117.0
近畿	進学率	53.4	53.3	53.2	53.7	55.5	58.0	60.3	62.0	63.4	64.1
	指数	100.0	99.8	99.6	100.6	103.9	108.6	112.9	116.1	118.7	120.0
中国	進学率	45.2	45.8	46.3	46.7	47.1	48.3	50.0	51.7	52.8	54.7
	指数	100.0	101.3	102.4	103.3	104.2	106.9	110.6	114.4	116.8	121.0
四国	進学率	43.7	44.1	44.6	45.1	47.0	48.0	50.2	51.7	52.7	53.9
	指数	100.0	100.9	102.1	103.2	107.6	109.8	114.9	118.3	120.6	123.3
九州沖縄	進学率	39.1	39.5	39.9	40.1	40.4	41.5	43.4	44.6	45.8	47.3
	指数	100.0	101.0	102.0	102.6	103.3	106.1	111.0	114.1	117.1	121.0

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

短期大学進学率の推移（現役：エリア別：2016～2025年）

■ 2016年4.9%→2025年2.6%（2.3ポイント低下）

- ・ 全国の短期大学進学率は2016年4.9%→2025年2.6%と、10年間で2.3ポイント低下。
 - ・ 低下が大きいのは、1位 南関東（41.7）、2位 東海（46.2）、3位 北海道（47.1）。※注
 - ・ 低下が小さいのは、1位 東北（68.5）、2位 甲信越（60.9）、3位 九州沖縄（60.7）。※注
 - ・ 2025年進学率が高いのは、1位 北陸（4.1%）、2位 甲信越（3.9%）、3位 東北（3.7%）。
- ※注（）内は指数=2016年を100として算出



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

専門学校進学率の推移（現役：エリア別：2016～2025年）

■ 2016年16.0%→2025年14.4%（1.6ポイント低下）

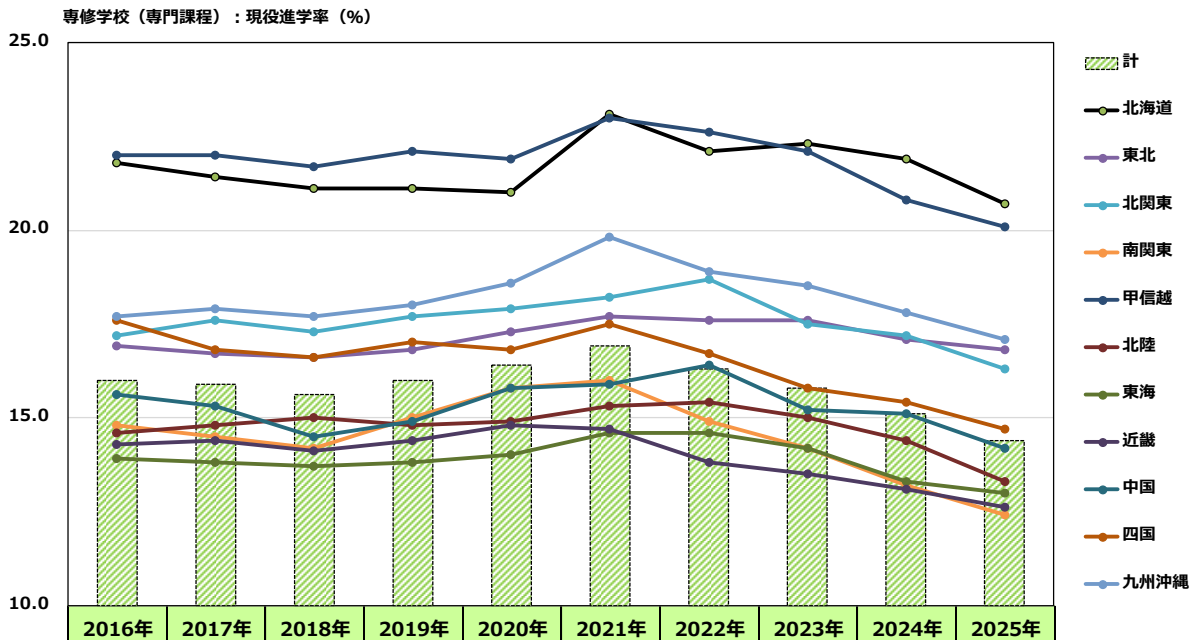
・ 全国の専門学校進学率は2016年16.0%→2025年14.4%と、10年間で1.6ポイント低下。
2023年までは上昇、低下を繰り返していたが、2024年以降低下傾向であり、
2025年は15%を下回った。

・ 低下が小さいのは、1位 東北（99.4）、2位 九州沖縄（96.6）、3位 北海道（95.0）。※注

・ 低下が大きいのは、1位 四国（83.5）、2位 南関東（83.8）、3位 近畿（88.1）。※注

・ 2025年進学率が高いのは、1位 北海道（20.7%）、2位 甲信越（20.1%）、3位 九州沖縄（17.1%）。

※注（）内は指数=2016年を100として算出



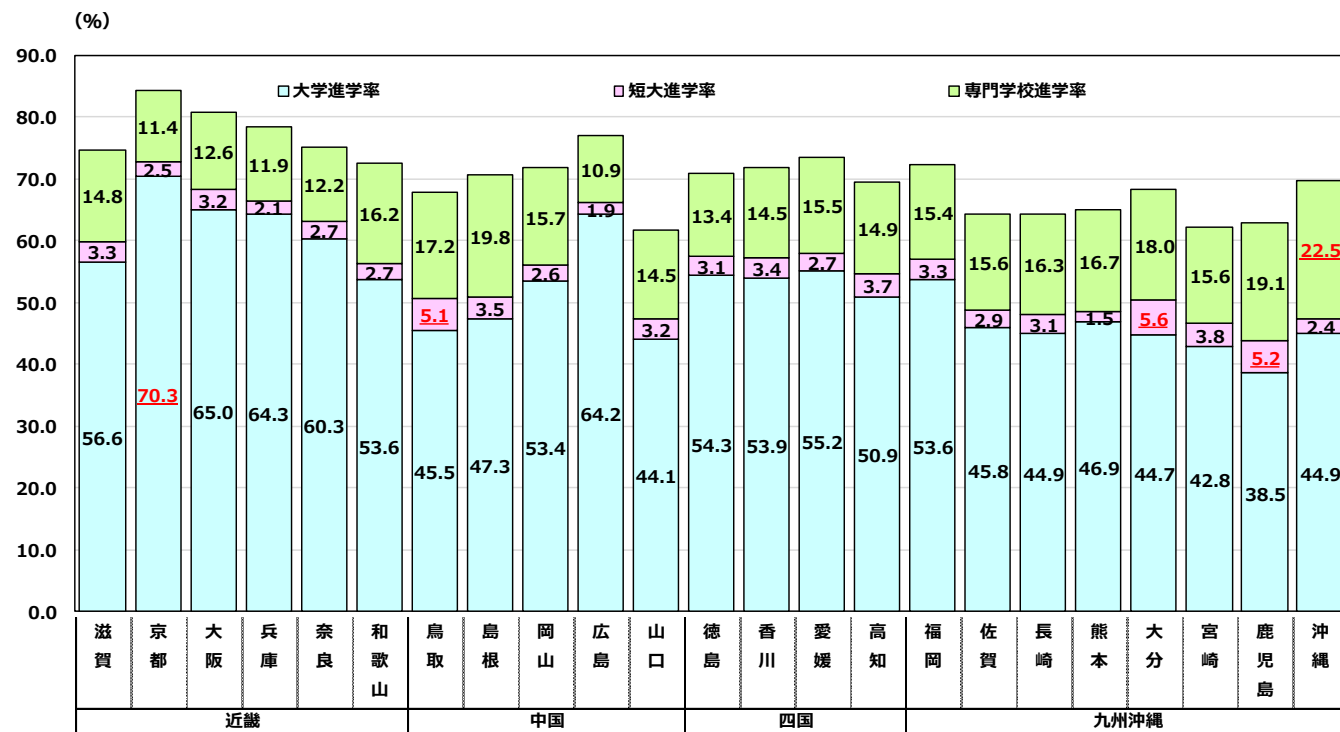
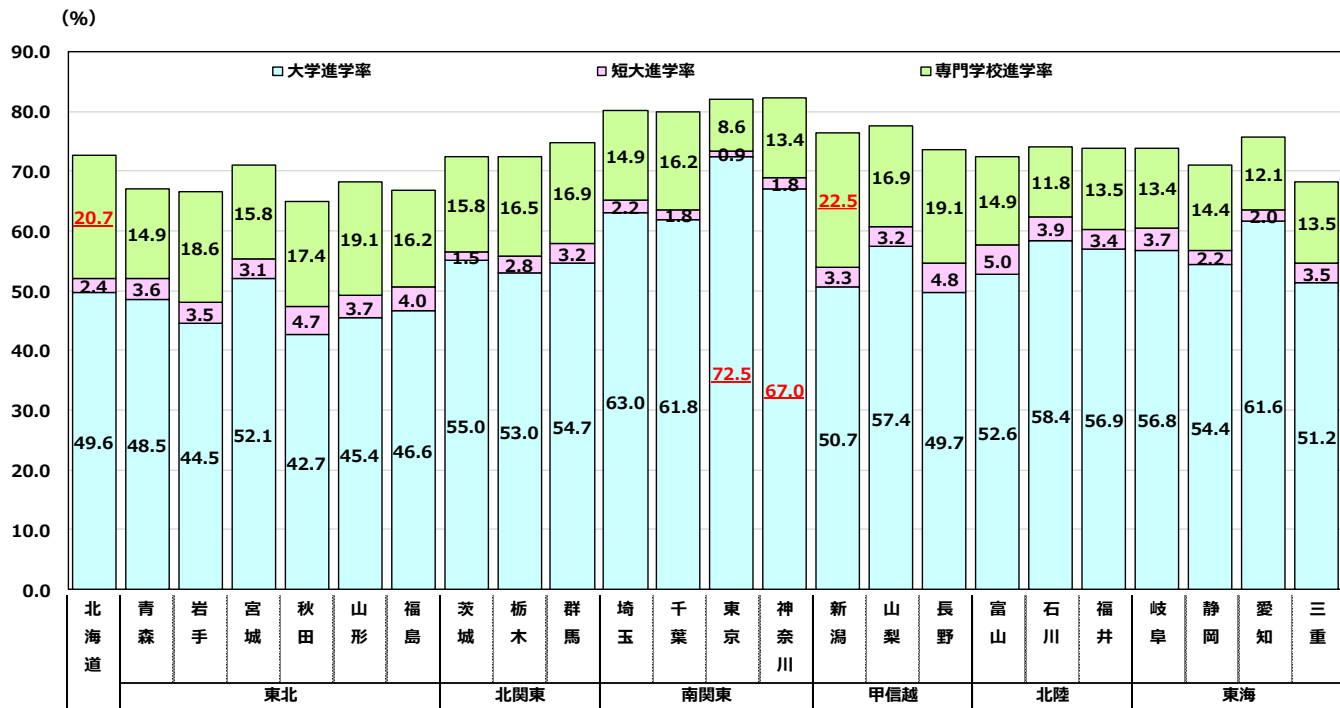
		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
計	進学率	16.0	15.9	15.6	16.0	16.4	16.9	16.3	15.8	15.1	14.4
	指数	100.0	99.4	97.5	100.0	102.5	105.6	101.9	98.8	94.4	90.0
北海道	進学率	21.8	21.4	21.1	21.1	21.0	23.1	22.1	22.3	21.9	20.7
	指数	100.0	98.2	96.8	96.8	96.3	106.0	101.4	102.3	100.5	95.0
東北	進学率	16.9	16.7	16.6	16.8	17.3	17.7	17.6	17.6	17.1	16.8
	指数	100.0	98.8	98.2	99.4	102.4	104.7	104.1	104.1	101.2	99.4
北関東	進学率	17.2	17.6	17.3	17.7	17.9	18.2	18.7	17.5	17.2	16.3
	指数	100.0	102.3	100.6	102.9	104.1	105.8	108.7	101.7	100.0	94.8
南関東	進学率	14.8	14.5	14.2	15.0	15.8	16.0	14.9	14.2	13.2	12.4
	指数	100.0	98.0	95.9	101.4	106.8	108.1	100.7	95.9	89.2	83.8
甲信越	進学率	22.0	22.0	21.7	22.1	21.9	23.0	22.6	22.1	20.8	20.1
	指数	100.0	100.0	98.6	100.5	99.5	104.5	102.7	100.5	94.5	91.4
北陸	進学率	14.6	14.8	15.0	14.8	14.9	15.3	15.4	15.0	14.4	13.3
	指数	100.0	101.4	102.7	101.4	102.1	104.8	105.5	102.7	98.6	91.1
東海	進学率	13.9	13.8	13.7	13.8	14.0	14.6	14.6	14.2	13.3	13.0
	指数	100.0	99.3	98.6	99.3	100.7	105.0	105.0	102.2	95.7	93.5
近畿	進学率	14.3	14.4	14.1	14.4	14.8	14.7	13.8	13.5	13.1	12.6
	指数	100.0	100.7	98.6	100.7	103.5	102.8	96.5	94.4	91.6	88.1
中国	進学率	15.6	15.3	14.5	14.9	15.8	15.9	16.4	15.2	15.1	14.2
	指数	100.0	98.1	92.9	95.5	101.3	101.9	105.1	97.4	96.8	91.0
四国	進学率	17.6	16.8	16.6	17.0	16.8	17.5	16.7	15.8	15.4	14.7
	指数	100.0	95.5	94.3	96.6	95.5	99.4	94.9	89.8	87.5	83.5
九州沖縄	進学率	17.7	17.9	17.7	18.0	18.6	19.8	18.9	18.5	17.8	17.1
	指数	100.0	101.1	100.0	101.7	105.1	111.9	106.8	104.5	100.6	96.6

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

大学・短期大学・専門学校進学率（現役：都道府県別：2025年）

■ 大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は大分、専門学校進学率1位は新潟・沖縄

大学進学率 1位：東京（72.5%） 2位：京都（70.3%） 3位：神奈川（67.0%）
短期大学進学率 1位：大分（5.6%） 2位：鹿児島（5.2%） 3位：鳥取（5.1%）
専門学校進学率 1位：新潟・沖縄（22.5%） 3位：北海道（20.7%）

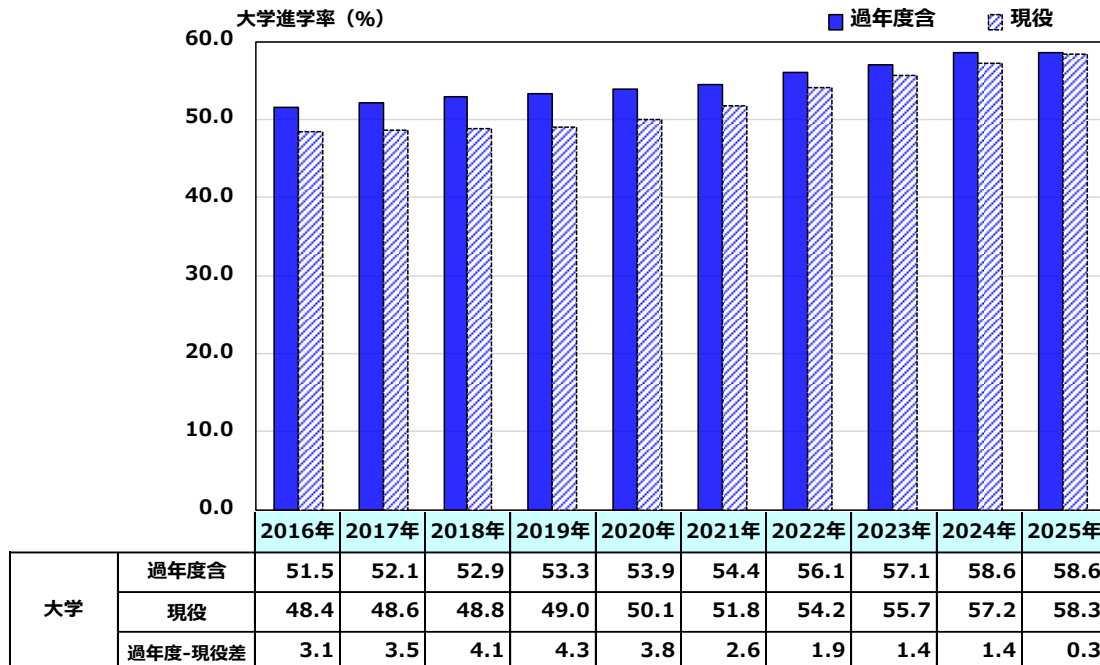


※データ元：文部科学省「学校基本調査」

■ 2025年現役と過年度含の進学率の差は、大学は0.3ポイント、短大は0.1ポイント (過年度含が高い)。

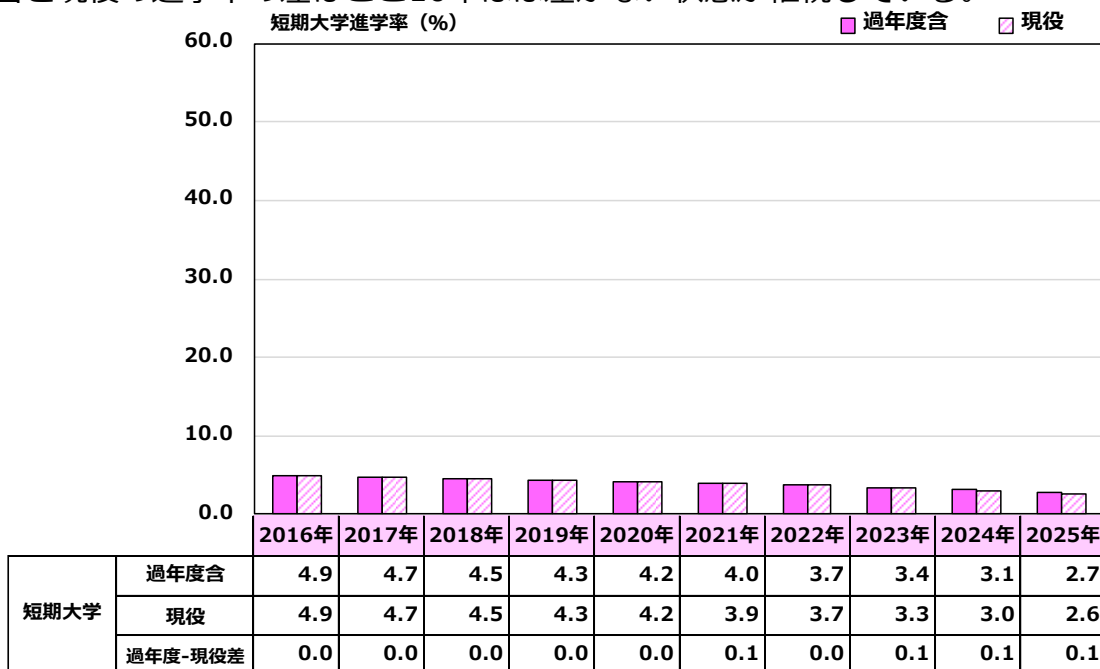
大学進学者

- ・現役の進学率は2016年48.4%→2025年58.3% (9.9ポイント上昇)。
- ・過年度含の進学率は2016年51.5%→2025年58.6% (7.1ポイント上昇)。
- ・過年度含と現役の進学率の差は2016年3.1ポイント→2025年0.3ポイントとなり、徐々に差がなくなってきている。



短期大学進学者

- ・現役の進学率は2016年4.9%→2025年2.6% (2.3ポイント低下)。
- ・過年度含の進学率は2016年4.9%→2025年2.7% (2.2ポイント低下)。
- ・過年度含と現役の進学率の差はここ10年ほぼ差がない状態が継続している。

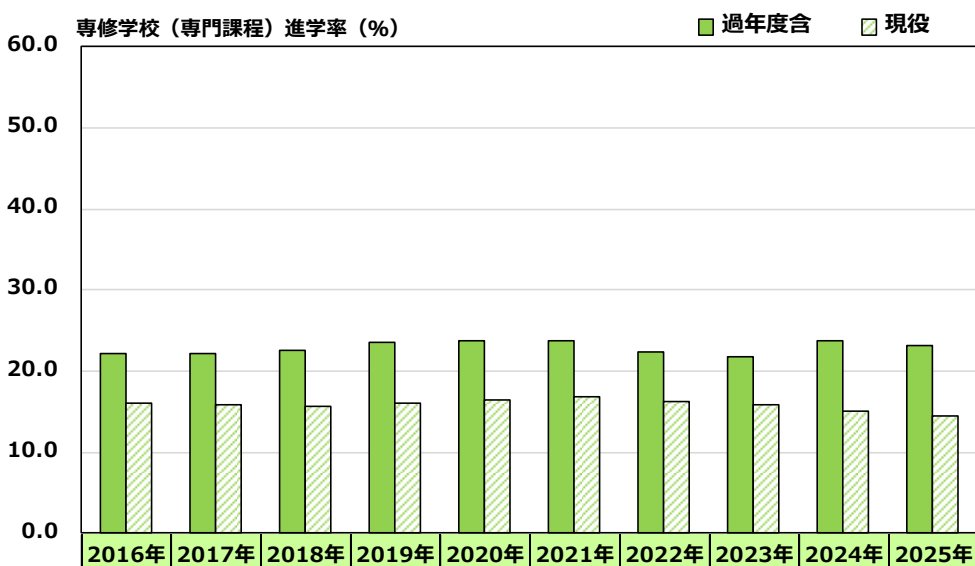


※データ元：文部科学省「学校基本調査」

■ 専門学校で2025年現役と過年度含の進学率の差は、8.7ポイント（過年度含が高い）

専門学校進学者

- ・ 現役の進学率は2016年16.0%→2025年14.4%（1.6ポイント低下）。
- ・ 過年度含の進学率は2016年22.1%→2025年23.1%（1.0ポイント上昇）。
- ・ 過年度含と現役の進学率の差は2016年6.1ポイント→2025年8.7ポイントと拡大。



専門学校	過年度含	22.1	22.2	22.5	23.6	23.7	23.7	22.3	21.7	23.8	23.1
	現役	16.0	15.9	15.6	16.0	16.4	16.9	16.3	15.8	15.1	14.4
	過年度-現役差	6.1	6.3	6.9	7.6	7.3	6.8	6.0	5.9	8.7	8.7

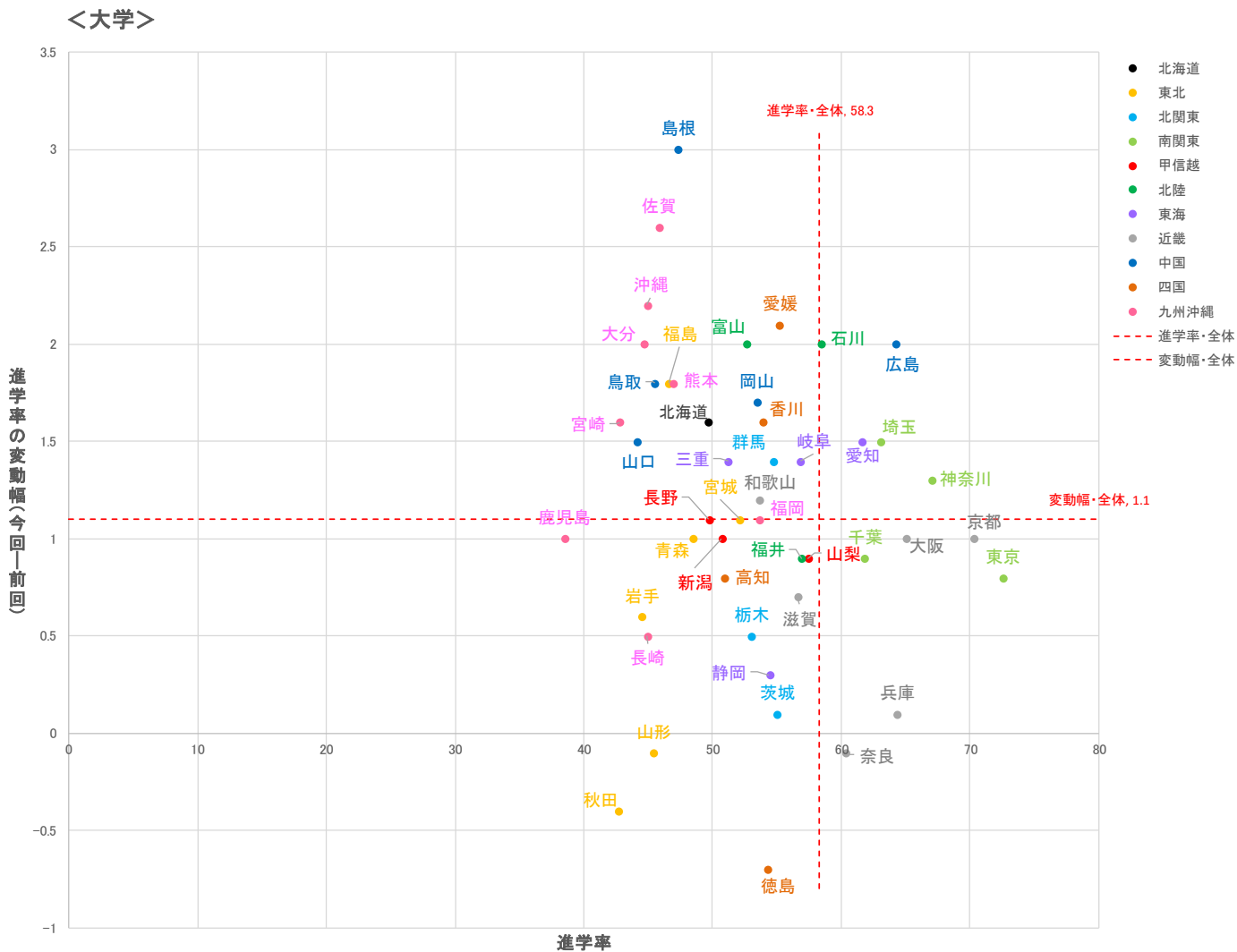
大学・短期大学・専門学校進学率（現役：都道府県別：2025年）

（参考）大学・短期大学・専門学校進学率ランキング

（）内は前回からの変動 単位（％）

大学			短期大学			専門学校		
1	東京	72.5 (0.8)	1	大分	5.6 (▲0.6)	1	新潟	22.5 (▲1.0)
2	京都	70.3 (1.0)	2	鹿児島	5.2 (▲0.4)		沖縄	22.5 (▲2.4)
3	神奈川	67.0 (1.3)	3	鳥取	5.1 (▲0.9)	3	北海道	20.7 (▲1.2)
4	大阪	65.0 (1.0)	4	富山	5.0 (▲0.8)	4	島根	19.8 (▲1.2)
5	兵庫	64.3 (0.1)	5	長野	4.8 (▲0.8)	5	山形	19.1 (▲0.6)
6	広島	64.2 (2.0)	6	秋田	4.7 (▲0.1)		長野	19.1 (▲0.5)
7	埼玉	63.0 (1.5)	7	福島	4.0 (▲0.5)		鹿児島	19.1 (0.1)
8	千葉	61.8 (0.9)	8	石川	3.9 (▲0.8)	8	岩手	18.6 (0.7)
9	愛知	61.6 (1.5)	9	宮崎	3.8 (▲0.2)	9	大分	18.0 (0.6)
10	奈良	60.3 (▲0.1)	10	山形	3.7 (▲0.2)	10	秋田	17.4 (0.0)
11	石川	58.4 (2.0)		岐阜	3.7 (▲0.7)	11	鳥取	17.2 (▲1.3)
12	山梨	57.4 (0.9)		高知	3.7 (▲0.3)	12	群馬	16.9 (▲1.2)
13	福井	56.9 (0.9)	13	青森	3.6 (▲0.5)		山梨	16.9 (▲0.4)
14	岐阜	56.8 (1.4)	14	岩手	3.5 (▲0.2)	14	熊本	16.7 (▲1.7)
15	滋賀	56.6 (0.7)		三重	3.5 (▲0.8)	15	栃木	16.5 (▲0.6)
16	愛媛	55.2 (2.1)		島根	3.5 (▲0.5)	16	長崎	16.3 (0.6)
17	茨城	55.0 (0.1)	17	福井	3.4 (▲0.2)	17	福島	16.2 (▲0.2)
18	群馬	54.7 (1.4)		香川	3.4 (▲0.5)		千葉	16.2 (▲0.9)
19	静岡	54.4 (0.3)	19	新潟	3.3 (0.0)		和歌山	16.2 (▲0.3)
20	徳島	54.3 (▲0.7)		滋賀	3.3 (▲0.9)	20	宮城	15.8 (▲1.5)
				福岡	3.3 (▲0.7)		茨城	15.8 (▲0.8)

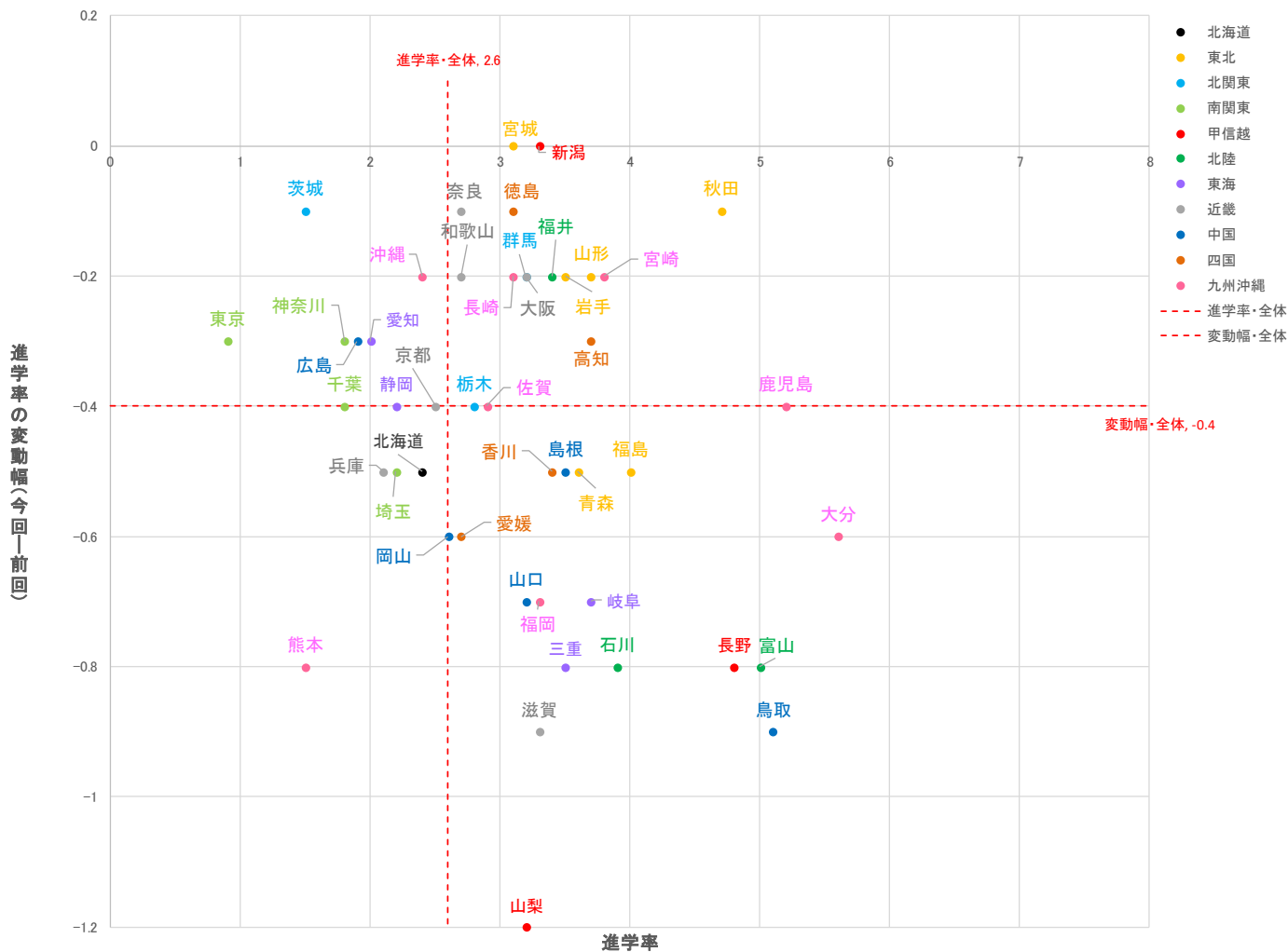
（参考）進学率と前回からの変動幅〈大学〉



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

（参考）進学率と前回からの変動幅＜短期大学＞

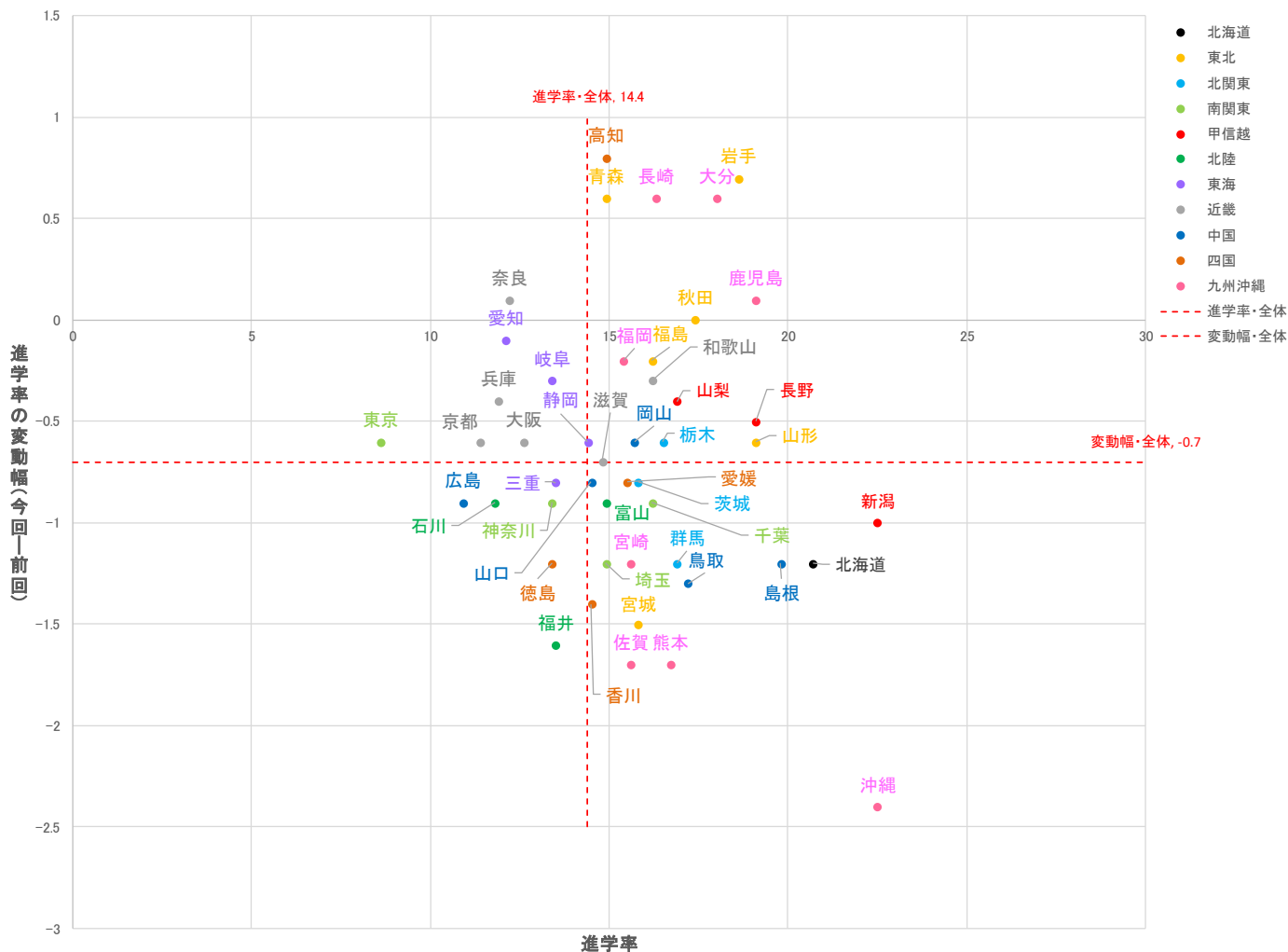
＜短期大学＞



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

（参考）進学率と前回からの変動幅＜専門学校＞

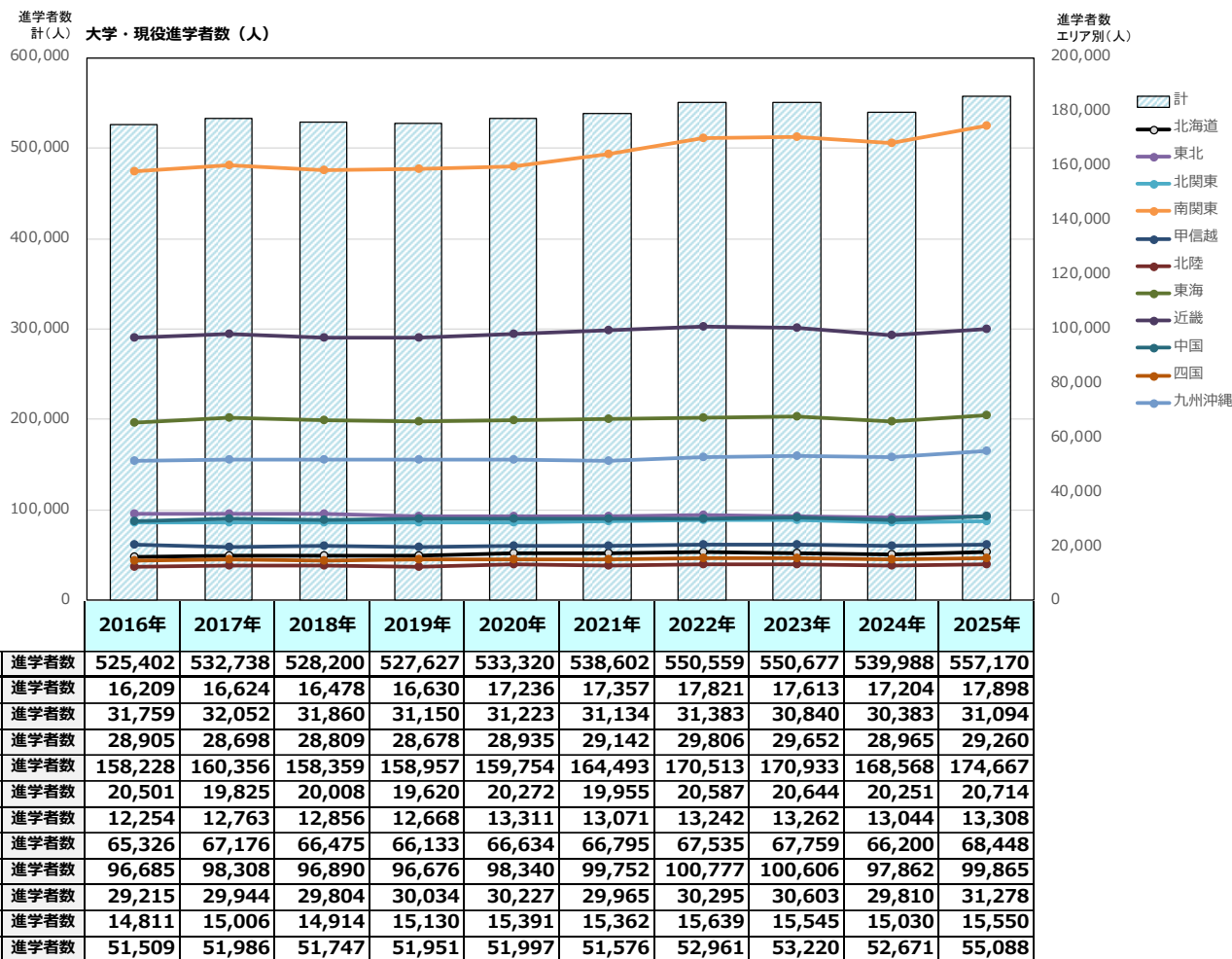
＜専門学校＞



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

進学者数の推移（現役：エリア別）

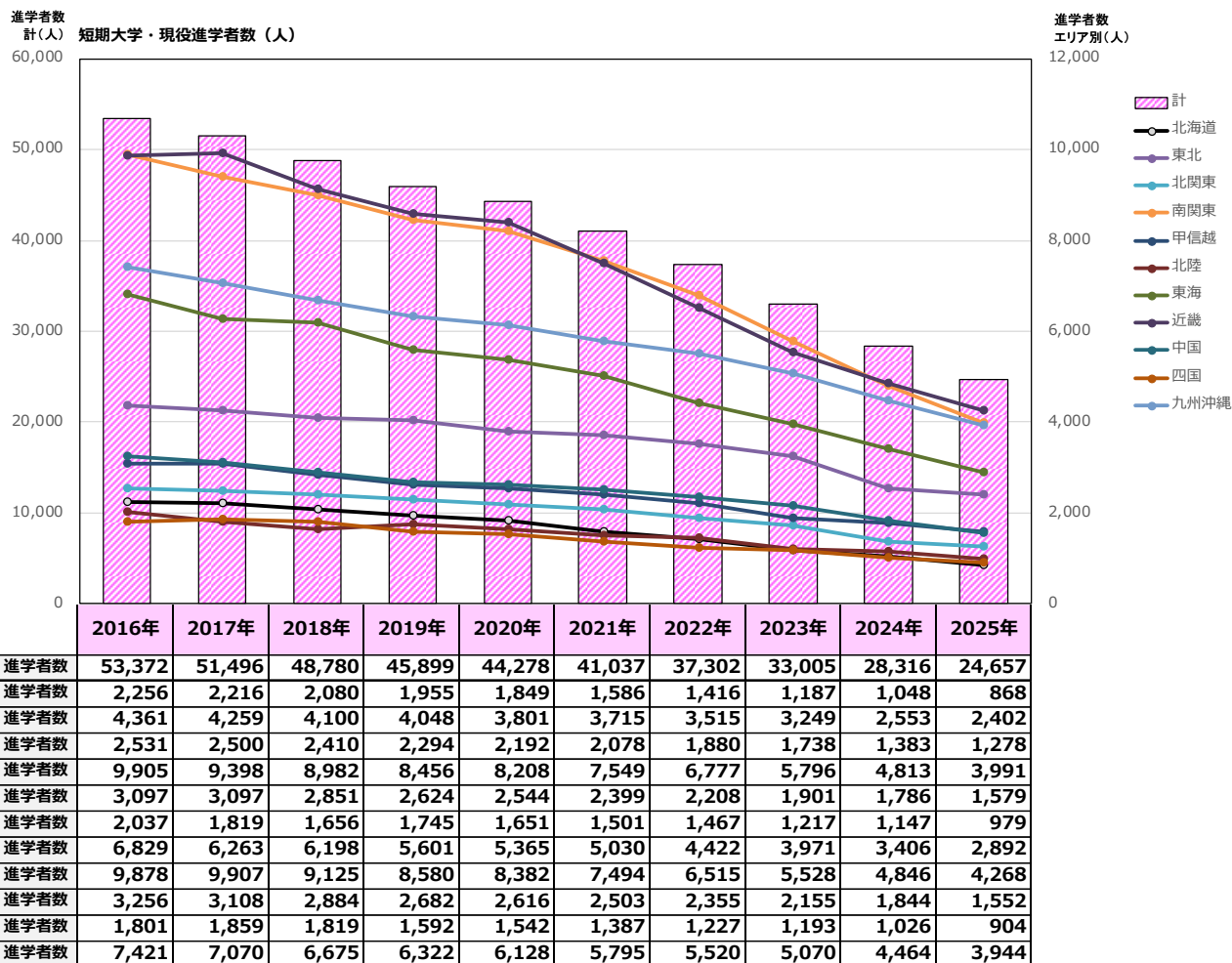
（参考）大学進学者数の推移



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

進学者数の推移（現役：エリア別）

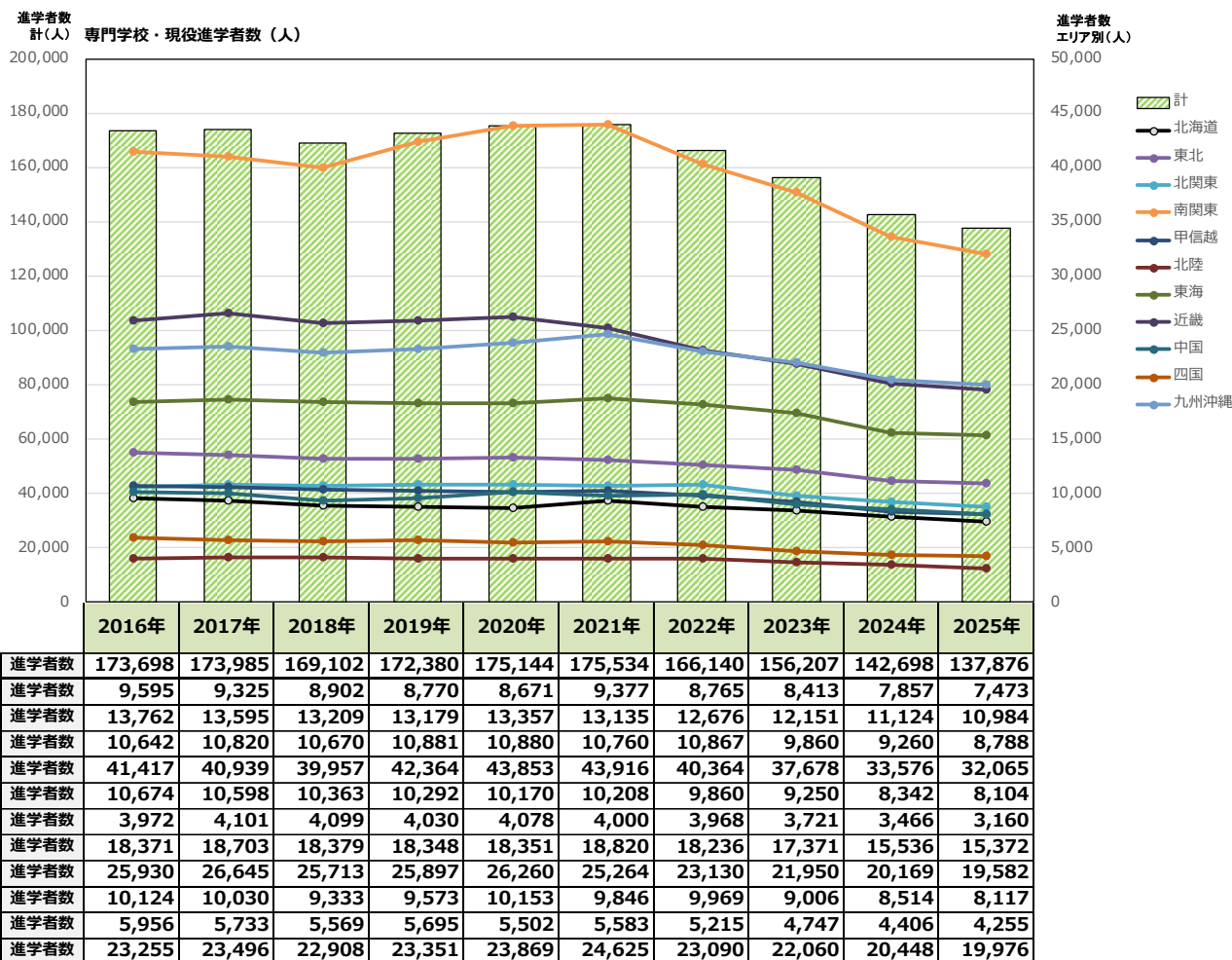
（参考）短期大学進学者数の推移



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

進学者数の推移（現役：エリア別）

（参考）専門学校進学者数の推移



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

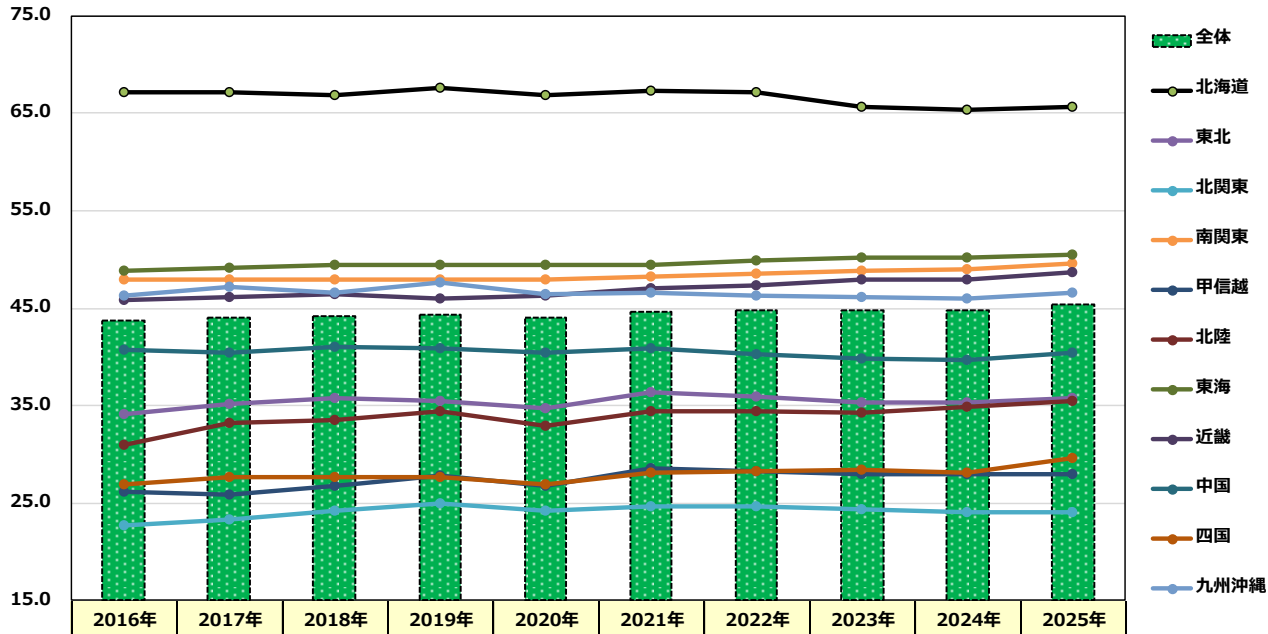
地元残留率の推移（全体：大学入学者数：エリア別：2016～2025年）

■ 2016年43.7%→2025年45.4%（1.7ポイント上昇）

- ・ 全体で2016年43.7%→2025年45.4%と1.7ポイント上昇。
- ・ 2025年上昇が大きいのは、1位 北陸（114.9）、2位 四国（110.0）、3位 甲信越（106.9）。※注
- ・ 2025年残留率が高いのは、1位 北海道（65.6%）、2位 東海（50.5%）、3位 南関東（49.6%）。
- ・ 2025年残留率が低いのは、1位 北関東（24.1%）、2位 甲信越（28.0%）、3位 四国（29.6%）。

※注（）内は指数=2016年を100として算出

地元残留率（%）：全体



		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
全体	残留率	43.7	44.1	44.2	44.4	44.1	44.7	44.8	44.8	44.8	45.4
	指数	100.0	100.9	101.1	101.6	100.9	102.3	102.5	102.5	102.5	103.9
北海道	残留率	67.1	67.2	66.9	67.6	66.9	67.3	67.1	65.6	65.3	65.6
	指数	100.0	100.1	99.7	100.7	99.7	100.3	100.0	97.8	97.3	97.8
東北	残留率	34.1	35.2	35.7	35.5	34.7	36.4	36.0	35.3	35.3	35.8
	指数	100.0	103.2	104.7	104.1	101.8	106.7	105.6	103.5	103.5	105.0
北関東	残留率	22.7	23.3	24.2	25.0	24.2	24.7	24.6	24.4	24.1	24.1
	指数	100.0	102.6	106.6	110.1	106.6	108.8	108.4	107.5	106.2	106.2
南関東	残留率	47.9	48.0	47.9	47.9	48.0	48.2	48.5	48.8	49.0	49.6
	指数	100.0	100.2	100.0	100.0	100.2	100.6	101.3	101.9	102.3	103.5
甲信越	残留率	26.2	25.9	26.7	27.8	26.8	28.6	28.3	28.0	28.0	28.0
	指数	100.0	98.9	101.9	106.1	102.3	109.2	108.0	106.9	106.9	106.9
北陸	残留率	30.9	33.2	33.5	34.4	32.9	34.4	34.4	34.3	34.9	35.5
	指数	100.0	107.4	108.4	111.3	106.5	111.3	111.3	111.0	112.9	114.9
東海	残留率	48.9	49.2	49.5	49.5	49.4	49.5	49.9	50.2	50.2	50.5
	指数	100.0	100.6	101.2	101.2	101.0	101.2	102.0	102.7	102.7	103.3
近畿	残留率	45.8	46.1	46.4	46.0	46.3	47.0	47.3	47.9	48.0	48.7
	指数	100.0	100.7	101.3	100.4	101.1	102.6	103.3	104.6	104.8	106.3
中国	残留率	40.7	40.5	41.0	40.9	40.4	40.9	40.3	39.8	39.7	40.4
	指数	100.0	99.5	100.7	100.5	99.3	100.5	99.0	97.8	97.5	99.3
四国	残留率	26.9	27.7	27.6	27.6	26.9	28.1	28.3	28.4	28.1	29.6
	指数	100.0	103.0	102.6	102.6	100.0	104.5	105.2	105.6	104.5	110.0
九州沖縄	残留率	46.3	47.2	46.6	47.7	46.5	46.6	46.3	46.1	46.0	46.6
	指数	100.0	101.9	100.6	103.0	100.4	100.6	100.0	99.6	99.4	100.6

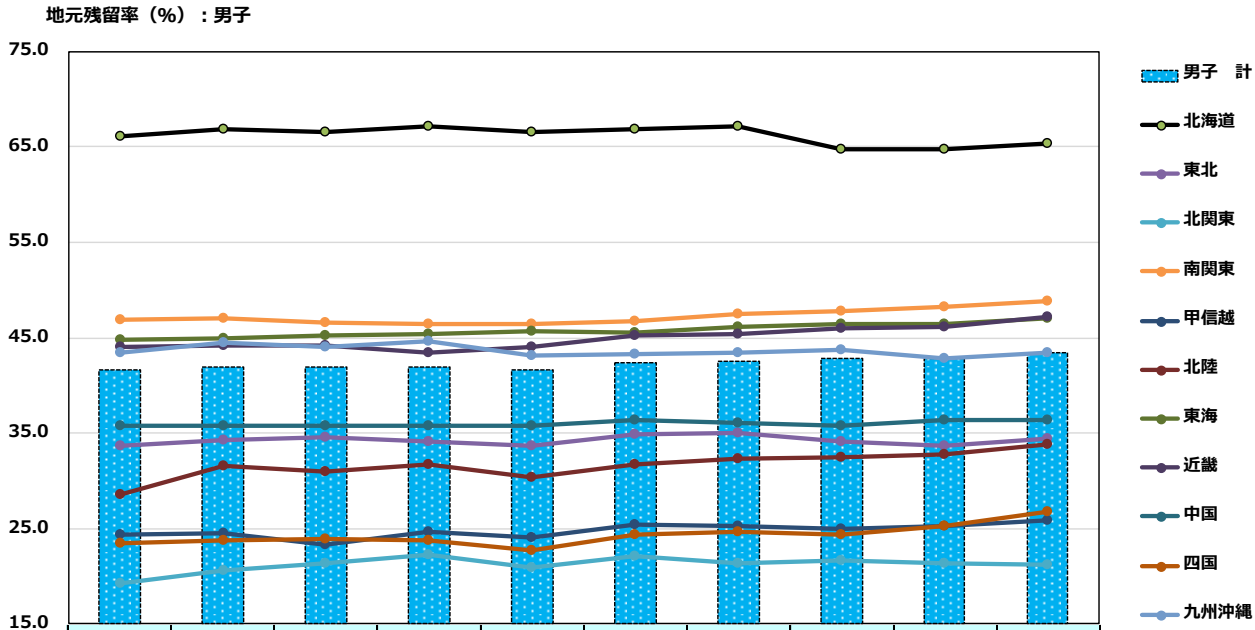
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率の推移（男子：大学入学者数：エリア別：2016～2025年）

■ 2016年41.6%→2025年43.5%（1.9ポイント上昇）

- ・ 男子は2016年41.6%→2025年43.5%と1.9ポイント上昇。
- ・ 2025年上昇が大きいのは、1位 北陸（118.2）、2位 四国（114.1）、3位 北関東（109.8）。※注
- ・ 2025年残留率が高いのは、1位 北海道（65.3%）、2位 南関東（48.8%）、3位 近畿（47.2%）。
- ・ 2025年残留率が低いのは、1位 北関東（21.2%）、2位 甲信越（25.8%）、3位 四国（26.7%）。

※注（ ）内は指数=2016年を100として算出



		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
男子 計	残留率	41.6	42.0	41.9	41.9	41.7	42.4	42.6	42.8	42.8	43.5
	指数	100.0	101.0	100.7	100.7	100.2	101.9	102.4	102.9	102.9	104.6
北海道	残留率	66.1	66.8	66.6	67.1	66.5	66.8	67.1	64.8	64.7	65.3
	指数	100.0	101.1	100.8	101.5	100.6	101.1	101.5	98.0	97.9	98.8
東北	残留率	33.6	34.2	34.6	34.1	33.6	34.9	35.0	34.1	33.7	34.4
	指数	100.0	101.8	103.0	101.5	100.0	103.9	104.2	101.5	100.3	102.4
北関東	残留率	19.3	20.6	21.3	22.2	20.9	22.1	21.4	21.7	21.4	21.2
	指数	100.0	106.7	110.4	115.0	108.3	114.5	110.9	112.4	110.9	109.8
南関東	残留率	46.9	47.0	46.6	46.5	46.4	46.7	47.5	47.8	48.3	48.8
	指数	100.0	100.2	99.4	99.1	98.9	99.6	101.3	101.9	103.0	104.1
甲信越	残留率	24.3	24.5	23.3	24.7	24.1	25.4	25.2	25.0	25.2	25.8
	指数	100.0	100.8	95.9	101.6	99.2	104.5	103.7	102.9	103.7	106.2
北陸	残留率	28.6	31.5	31.0	31.7	30.3	31.7	32.3	32.4	32.8	33.8
	指数	100.0	110.1	108.4	110.8	105.9	110.8	112.9	113.3	114.7	118.2
東海	残留率	44.8	45.0	45.2	45.4	45.7	45.6	46.1	46.5	46.4	47.1
	指数	100.0	100.4	100.9	101.3	102.0	101.8	102.9	103.8	103.6	105.1
近畿	残留率	44.0	44.2	44.2	43.5	44.1	45.3	45.4	46.0	46.1	47.2
	指数	100.0	100.5	100.5	98.9	100.2	103.0	103.2	104.5	104.8	107.3
中国	残留率	35.7	35.7	35.8	35.7	35.7	36.4	36.1	35.8	36.3	36.3
	指数	100.0	100.0	100.3	100.0	100.0	102.0	101.1	100.3	101.7	101.7
四国	残留率	23.4	23.7	23.9	23.7	22.7	24.3	24.6	24.4	25.3	26.7
	指数	100.0	101.3	102.1	101.3	97.0	103.8	105.1	104.3	108.1	114.1
九州沖縄	残留率	43.4	44.5	44.0	44.6	43.2	43.3	43.5	43.7	42.9	43.5
	指数	100.0	102.5	101.4	102.8	99.5	99.8	100.2	100.7	98.8	100.2

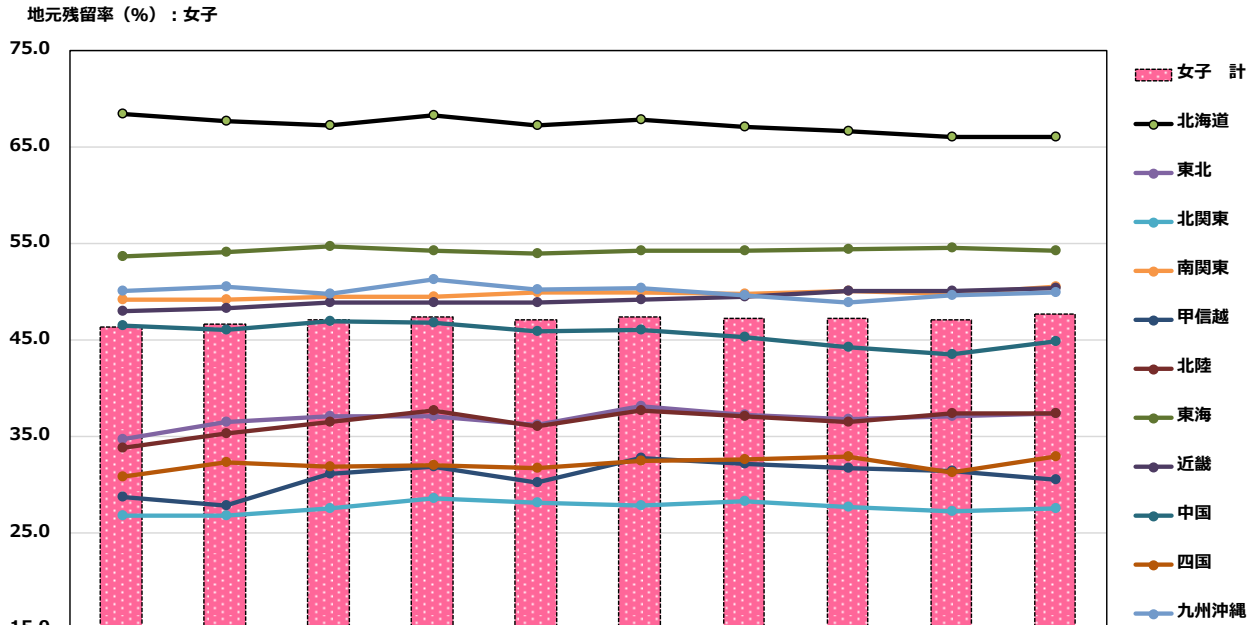
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率の推移（女子：大学入学者数：エリア別：2016～2025年）

■ 2016年46.3%→2025年47.6%（1.3ポイント上昇）

- ・女子は2016年46.3%→2025年47.6%と1.3ポイント上昇。
- ・2025年上昇が大きいのは、1位 北陸（111.0）、2位 東北（107.5）、3位 四国（106.5）。※注
- ・2025年残留率が高いのは、1位 北海道（66.0%）、2位 東海（54.3%）、3位 南関東（50.5%）。
- ・2025年残留率が低いのは、1位 北関東（27.5%）、2位 甲信越（30.5%）、3位 四国（32.8%）。

※注（）内は指数=2016年を100として算出



		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
女子計	残留率	46.3	46.6	47.0	47.3	47.0	47.4	47.2	47.2	47.1	47.6
	指数	100.0	100.6	101.5	102.2	101.5	102.4	101.9	101.9	101.7	102.8
北海道	残留率	68.4	67.7	67.3	68.3	67.3	67.9	67.1	66.6	66.0	66.0
	指数	100.0	99.0	98.4	99.9	98.4	99.3	98.1	97.4	96.5	96.5
東北	残留率	34.7	36.4	37.0	37.1	36.1	38.1	37.2	36.7	37.0	37.3
	指数	100.0	104.9	106.6	106.9	104.0	109.8	107.2	105.8	106.6	107.5
北関東	残留率	26.7	26.7	27.5	28.5	28.1	27.8	28.3	27.6	27.2	27.5
	指数	100.0	100.0	103.0	106.7	105.2	104.1	106.0	103.4	101.9	103.0
南関東	残留率	49.2	49.2	49.4	49.5	49.9	49.9	49.8	50.0	49.8	50.5
	指数	100.0	100.0	100.4	100.6	101.4	101.4	101.2	101.6	101.2	102.6
甲信越	残留率	28.7	27.8	31.0	31.8	30.2	32.7	32.1	31.6	31.4	30.5
	指数	100.0	96.9	108.0	110.8	105.2	113.9	111.8	110.1	109.4	106.3
北陸	残留率	33.7	35.2	36.5	37.6	36.0	37.6	37.1	36.4	37.3	37.4
	指数	100.0	104.5	108.3	111.6	106.8	111.6	110.1	108.0	110.7	111.0
東海	残留率	53.7	54.1	54.7	54.3	54.0	54.3	54.2	54.4	54.6	54.3
	指数	100.0	100.7	101.9	101.1	100.6	101.1	100.9	101.3	101.7	101.1
近畿	残留率	47.9	48.3	48.8	48.9	48.8	49.1	49.4	50.0	50.1	50.4
	指数	100.0	100.8	101.9	102.1	101.9	102.5	103.1	104.4	104.6	105.2
中国	残留率	46.4	46.0	46.9	46.8	45.8	46.0	45.2	44.2	43.5	44.8
	指数	100.0	99.1	101.1	100.9	98.7	99.1	97.4	95.3	93.8	96.6
四国	残留率	30.8	32.2	31.8	31.9	31.6	32.4	32.5	32.8	31.2	32.8
	指数	100.0	104.5	103.2	103.6	102.6	105.2	105.5	106.5	101.3	106.5
九州沖縄	残留率	50.0	50.5	49.8	51.3	50.2	50.3	49.6	48.8	49.6	49.9
	指数	100.0	101.0	99.6	102.6	100.4	100.6	99.2	97.6	99.2	99.8

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率の推移（全体：短期大学入学者数：エリア別：2016～2025年）

■2016年69.0%→2025年71.1%（2.1ポイント上昇）

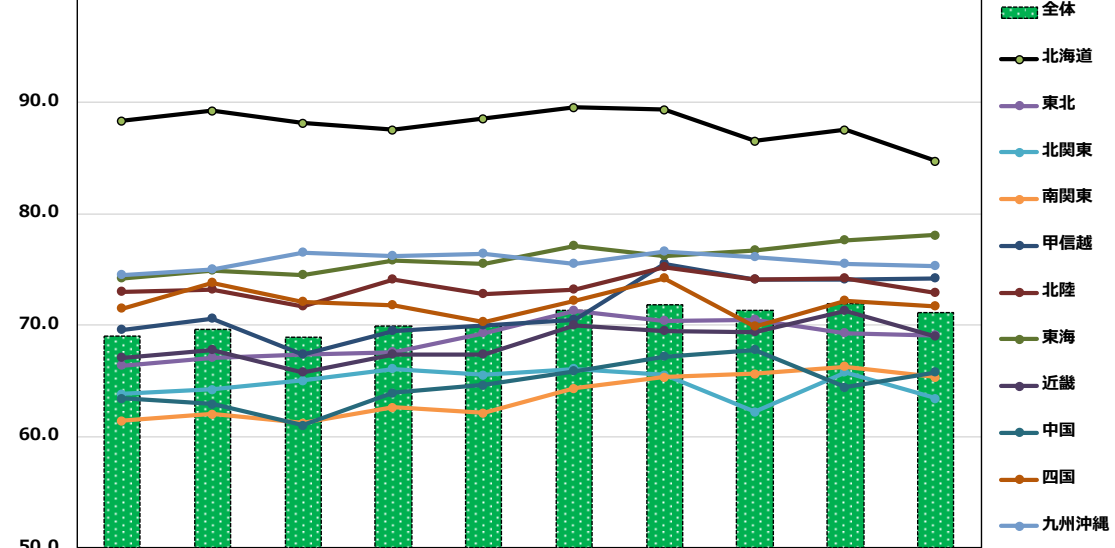
- ・全体で2016年69.0%→2025年71.1%と2.1ポイント上昇。
- ・2025年上昇が大きいのは、1位 甲信越（106.6）、2位南関東（106.4）、3位 東海（105.3）。※注
- ・2025年残留率が高いのは、1位 北海道（84.7%）、2位 東海（78.1%）、3位 九州沖縄（75.3%）。
- ・2025年残留率が低いのは、1位 北関東（63.4%）、2位 南関東（65.3%）、3位 中国（65.8%）。

※注（）内は指数=2016年を100として算出

■地元残留率の推移：全体（短大入学者：各エリア：2015年→2024年）

地元残留率（%）：全体

100.0



50.0

		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
全体	残留率	69.0	69.6	68.9	69.9	69.9	71.3	71.8	71.3	71.9	71.1
	指数	100.0	100.9	99.9	101.3	101.3	103.3	104.1	103.3	104.2	103.0
北海道	残留率	88.3	89.2	88.1	87.5	88.5	89.5	89.3	86.5	87.5	84.7
	指数	100.0	101.0	99.8	99.1	100.2	101.4	101.1	98.0	99.1	95.9
東北	残留率	66.4	67.1	67.4	67.6	69.3	71.3	70.4	70.5	69.3	69.1
	指数	100.0	101.1	101.5	101.8	104.4	107.4	106.0	106.2	104.4	104.1
北関東	残留率	63.8	64.2	65.0	66.1	65.5	66.1	65.5	62.2	65.8	63.4
	指数	100.0	100.6	101.9	103.6	102.7	103.6	102.7	97.5	103.1	99.4
南関東	残留率	61.4	62.0	61.2	62.6	62.1	64.3	65.3	65.6	66.3	65.3
	指数	100.0	101.0	99.7	102.0	101.1	104.7	106.4	106.8	108.0	106.4
甲信越	残留率	69.6	70.6	67.4	69.5	70.0	70.5	75.5	74.1	74.1	74.2
	指数	100.0	101.4	96.8	99.9	100.6	101.3	108.5	106.5	106.5	106.6
北陸	残留率	73.0	73.2	71.7	74.1	72.8	73.2	75.2	74.1	74.2	72.9
	指数	100.0	100.3	98.2	101.5	99.7	100.3	103.0	101.5	101.6	99.9
東海	残留率	74.2	74.9	74.5	75.8	75.5	77.1	76.2	76.7	77.6	78.1
	指数	100.0	100.9	100.4	102.2	101.8	103.9	102.7	103.4	104.6	105.3
近畿	残留率	67.1	67.8	65.8	67.4	67.4	70.0	69.5	69.4	71.3	69.0
	指数	100.0	101.0	98.1	100.4	100.4	104.3	103.6	103.4	106.3	102.8
中国	残留率	63.4	62.9	61.0	63.9	64.6	65.9	67.2	67.8	64.4	65.8
	指数	100.0	99.2	96.2	100.8	101.9	103.9	106.0	106.9	101.6	103.8
四国	残留率	71.5	73.8	72.1	71.8	70.3	72.2	74.2	69.9	72.2	71.7
	指数	100.0	103.2	100.8	100.4	98.3	101.0	103.8	97.8	101.0	100.3
九州沖縄	残留率	74.5	75.0	76.5	76.2	76.4	75.5	76.6	76.1	75.5	75.3
	指数	100.0	100.7	102.7	102.3	102.6	101.3	102.8	102.1	101.3	101.1

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

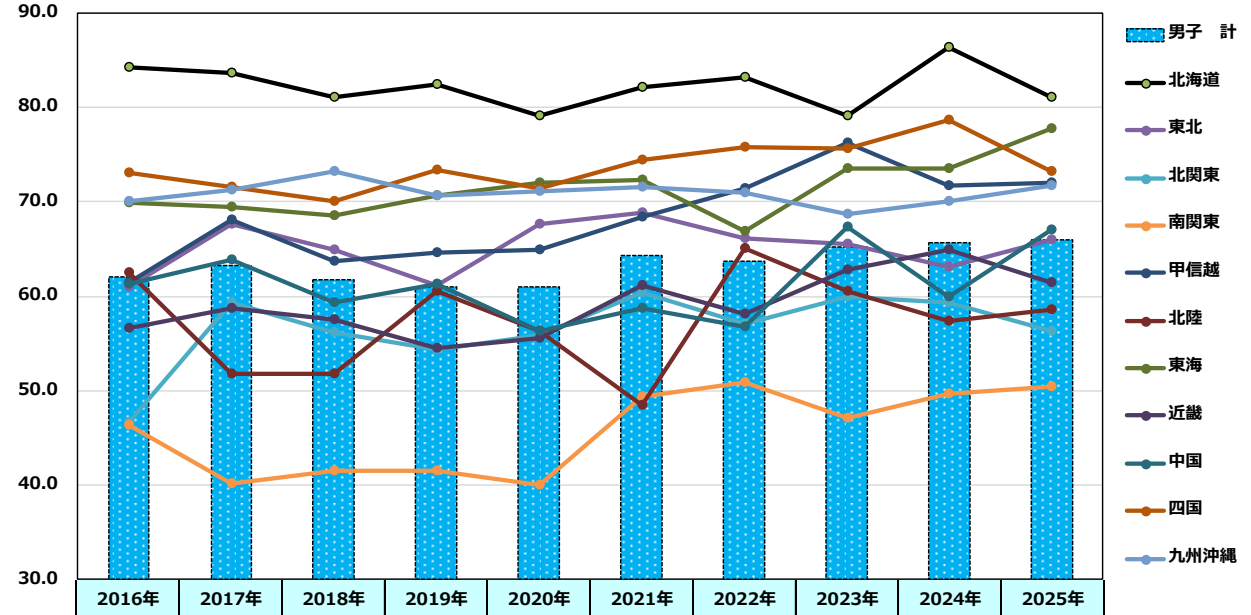
地元残留率の推移（男子：短期大学入学者数：エリア別：2016～2025年）

■2016年62.0%→2025年66.0%（4.0ポイント上昇）

- ・男子は2016年62.0%→2025年66.0%と4.0ポイント上昇。
- ・2025年上昇が大きいのは、1位 北関東（120.8）、2位 甲信越（117.4）、3位 東海（111.3）。※注
- ・2025年残留率が高いのは、1位 北海道（81.1%）、2位 東海（77.8%）、3位 四国（73.2%）。
- ・2025年残留率が低いのは、1位 南関東（50.4%）、2位 北関東（56.4%）、3位 北陸（58.6%）。

※注（）内は指数=2016年を100として算出

地元残留率（%）：男子



		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
男子 計	残留率	62.0	63.2	61.8	61.0	61.0	64.4	63.8	65.3	65.7	66.0
	指数	100.0	101.9	99.7	98.4	98.4	103.9	102.9	105.3	106.0	106.5
北海道	残留率	84.3	83.7	81.1	82.4	79.2	82.2	83.2	79.1	86.4	81.1
	指数	100.0	99.3	96.2	97.7	94.0	97.5	98.7	93.8	102.5	96.2
東北	残留率	61.0	67.7	64.9	61.2	67.7	68.8	66.2	65.6	63.1	66.0
	指数	100.0	111.0	106.4	100.3	111.0	112.8	108.5	107.5	103.4	108.2
北関東	残留率	46.7	59.3	56.2	54.3	55.9	60.4	57.1	60.0	59.4	56.4
	指数	100.0	127.0	120.3	116.3	119.7	129.3	122.3	128.5	127.2	120.8
南関東	残留率	46.3	40.2	41.6	41.5	40.0	49.4	50.9	47.1	49.7	50.4
	指数	100.0	86.8	89.8	89.6	86.4	106.7	109.9	101.7	107.3	108.9
甲信越	残留率	61.4	68.1	63.8	64.6	65.0	68.4	71.5	76.3	71.8	72.1
	指数	100.0	110.9	103.9	105.2	105.9	111.4	116.4	124.3	116.9	117.4
北陸	残留率	62.5	51.8	51.8	60.5	56.3	48.5	65.1	60.6	57.4	58.6
	指数	100.0	82.9	82.9	96.8	90.1	77.6	104.2	97.0	91.8	93.8
東海	残留率	69.9	69.4	68.6	70.6	72.1	72.3	66.9	73.6	73.5	77.8
	指数	100.0	99.3	98.1	101.0	103.1	103.4	95.7	105.3	105.2	111.3
近畿	残留率	56.7	58.8	57.6	54.5	55.5	61.1	58.1	62.8	64.9	61.4
	指数	100.0	103.7	101.6	96.1	97.9	107.8	102.5	110.8	114.5	108.3
中国	残留率	61.3	63.9	59.4	61.3	56.4	58.8	56.8	67.3	59.9	67.1
	指数	100.0	104.2	96.9	100.0	92.0	95.9	92.7	109.8	97.7	109.5
四国	残留率	73.1	71.6	70.0	73.4	71.4	74.4	75.8	75.6	78.6	73.2
	指数	100.0	97.9	95.8	100.4	97.7	101.8	103.7	103.4	107.5	100.1
九州沖縄	残留率	70.1	71.3	73.3	70.6	71.2	71.6	70.9	68.7	70.1	71.7
	指数	100.0	101.7	104.6	100.7	101.6	102.1	101.1	98.0	100.0	102.3

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

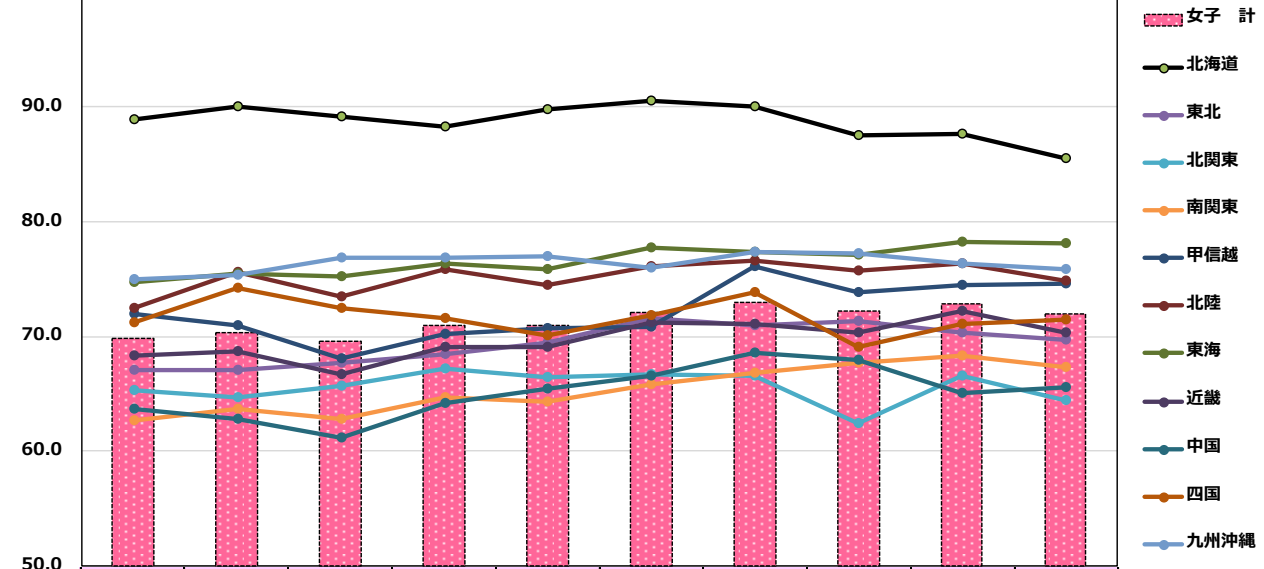
地元残留率の推移（女子：短期大学入学者数：エリア別：2016～2025年）

■2016年69.8%→2025年72.0%（2.2ポイント上昇）

- ・女子は2016年69.8%→2025年72.0%と2.2ポイント上昇。
- ・2025年上昇が大きいのは、1位 南関東（107.5）、2位 東海（104.6）、3位 東北（103.9）。※注
- ・2025年残留率が高いのは、1位 北海道（85.5%）、2位 東海（78.1%）、3位 九州沖縄（75.8%）。
- ・2025年残留率が低いのは、1位 北関東（64.4%）、2位 中国（65.5%）、3位 南関東（67.3%）。

※注（）内は指数=2016年を100として算出

地元残留率（%）：女子



		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
女子計	残留率	69.8	70.3	69.6	70.9	71.0	72.1	72.9	72.2	72.8	72.0
	指数	100.0	100.7	99.7	101.6	101.7	103.3	104.4	103.4	104.3	103.2
北海道	残留率	88.9	90.1	89.2	88.3	89.8	90.5	90.0	87.5	87.7	85.5
	指数	100.0	101.3	100.3	99.3	101.0	101.8	101.2	98.4	98.7	96.2
東北	残留率	67.1	67.1	67.7	68.4	69.5	71.6	71.0	71.3	70.3	69.7
	指数	100.0	100.0	100.9	101.9	103.6	106.7	105.8	106.3	104.8	103.9
北関東	残留率	65.3	64.7	65.7	67.2	66.4	66.7	66.5	62.4	66.6	64.4
	指数	100.0	99.1	100.6	102.9	101.7	102.1	101.8	95.6	102.0	98.6
南関東	残留率	62.6	63.7	62.8	64.6	64.3	65.8	66.8	67.7	68.3	67.3
	指数	100.0	101.8	100.3	103.2	102.7	105.1	106.7	108.1	109.1	107.5
甲信越	残留率	72.0	71.0	68.0	70.2	70.7	70.8	76.1	73.8	74.5	74.6
	指数	100.0	98.6	94.4	97.5	98.2	98.3	105.7	102.5	103.5	103.6
北陸	残留率	72.5	75.6	73.5	75.8	74.5	76.1	76.6	75.7	76.4	74.9
	指数	100.0	104.3	101.4	104.6	102.8	105.0	105.7	104.4	105.4	103.3
東海	残留率	74.7	75.5	75.2	76.4	75.9	77.7	77.4	77.1	78.2	78.1
	指数	100.0	101.1	100.7	102.3	101.6	104.0	103.6	103.2	104.7	104.6
近畿	残留率	68.3	68.7	66.7	69.0	69.1	71.2	71.1	70.3	72.2	70.3
	指数	100.0	100.6	97.7	101.0	101.2	104.2	104.1	102.9	105.7	102.9
中国	残留率	63.7	62.8	61.2	64.1	65.4	66.6	68.6	67.9	65.0	65.5
	指数	100.0	98.6	96.1	100.6	102.7	104.6	107.7	106.6	102.0	102.8
四国	残留率	71.2	74.2	72.4	71.6	70.1	71.8	73.9	69.0	71.1	71.4
	指数	100.0	104.2	101.7	100.6	98.5	100.8	103.8	96.9	99.9	100.3
九州沖縄	残留率	75.0	75.4	76.8	76.8	77.0	76.0	77.4	77.2	76.3	75.8
	指数	100.0	100.5	102.4	102.4	102.7	101.3	103.2	102.9	101.7	101.1

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率（全体：大学・短期大学入学者数：都道府県別：2025年）

■大学入学者の地元残留率1位は愛知、短期大学入学者の地元残留率1位は福岡

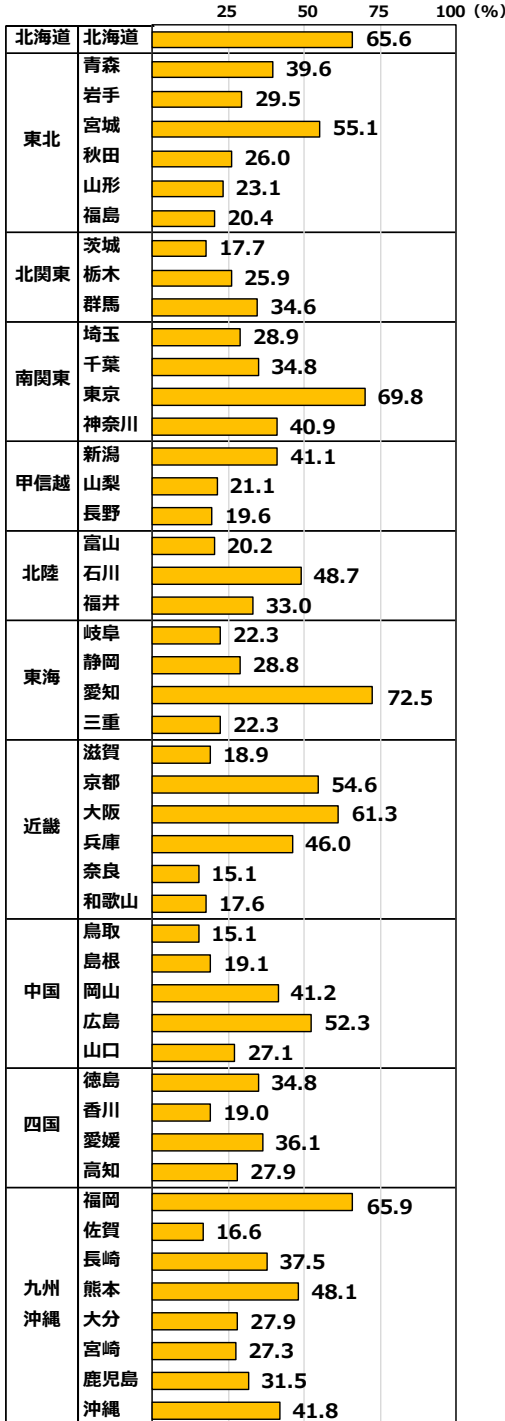
大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 愛知（72.5%）、2位 東京（69.8%）、3位 福岡（65.9%）
 残留率が低いのは、1位 奈良・鳥取（15.1%）、3位 佐賀（16.6%）

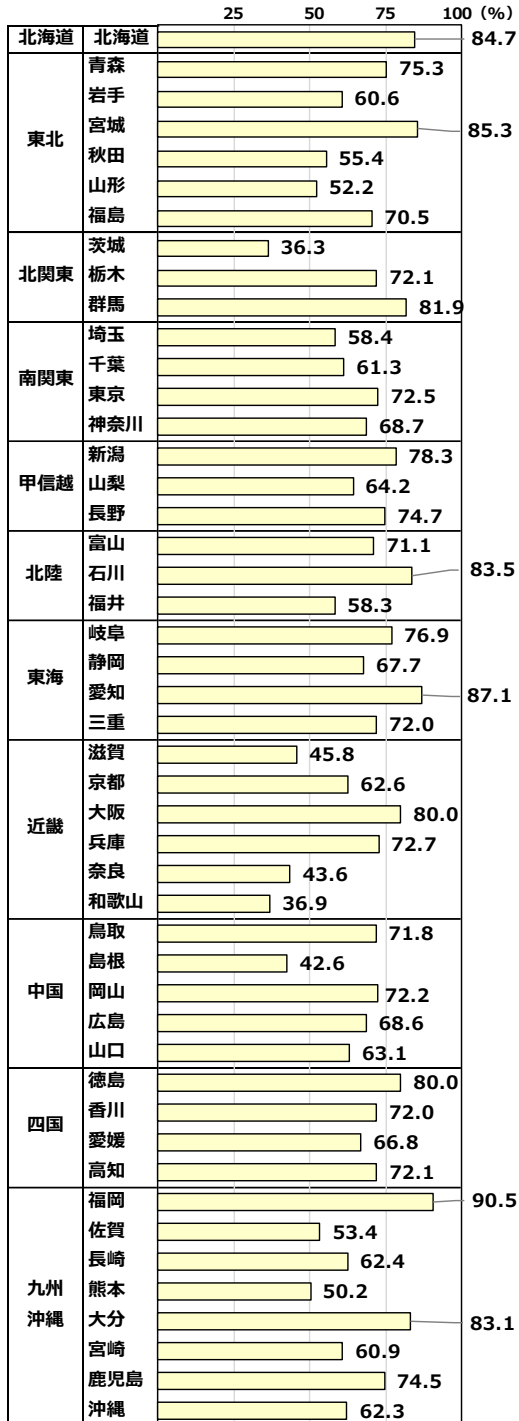
短期大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 福岡（90.5%）、2位 愛知（87.1%）、3位 宮城（85.3%）
 残留率が低いのは、1位 茨城（36.3%）、2位 和歌山（36.9%）、3位 島根（42.6%）

【大学入学者地元残留率：全体】



【短期大学入学者地元残留率：全体】



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率（男子：大学・短期大学入学者数：都道府県別：2025年）

■ 大学入学者の地元残留率1位は愛知、短期大学入学者の地元残留率1位は大分

大学入学者地元残留率

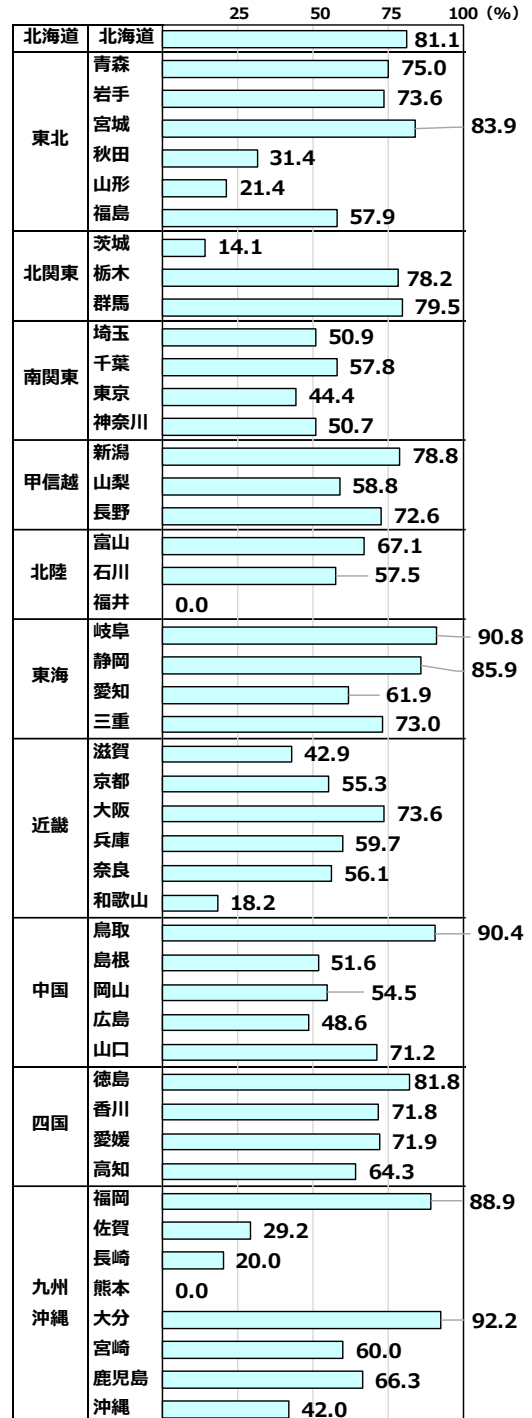
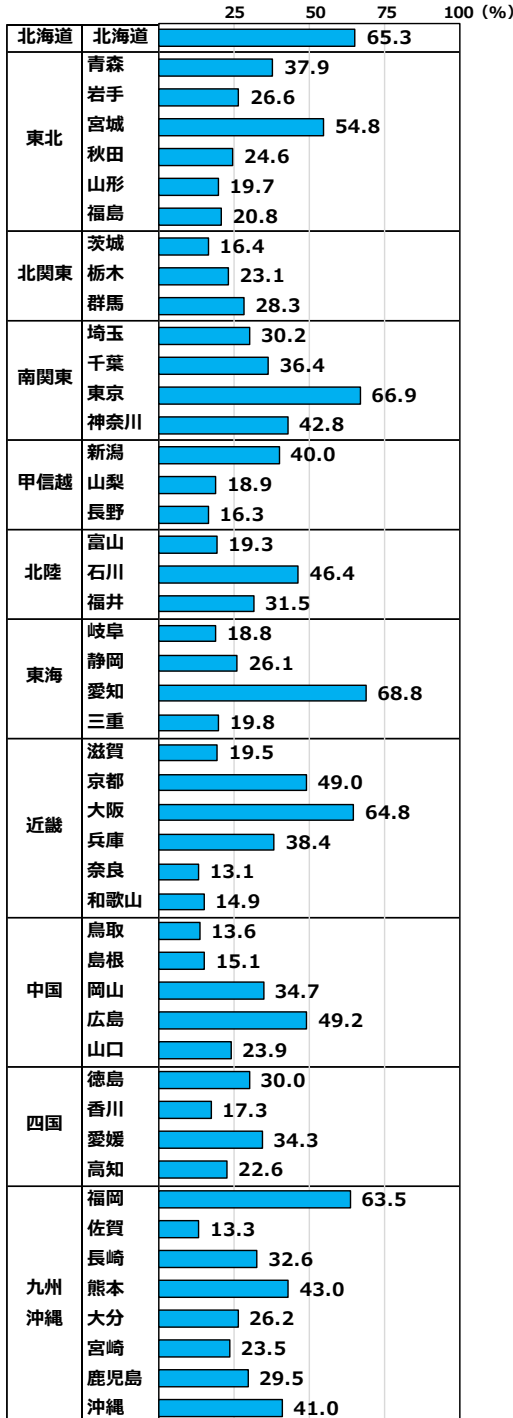
残留率が高いのは、1位 愛知（68.8%）、2位 東京（66.9%）、3位 北海道（65.3%）
 残留率が低いのは、1位 奈良（13.1%）、2位 佐賀（13.3%）、3位 鳥取（13.6%）

短期大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 大分（92.2%）、2位 岐阜（90.8%）、3位 鳥取（90.4%）
 残留率が低いのは、1位 茨城（14.1%）、2位 和歌山（18.2%）、3位 長崎（20.0%）

【大学入学者地元残留率：男子】

【短期大学入学者地元残留率：男子】



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率（女子：大学・短期大学入学者数：都道府県別：2025年）

■ 大学入学者の地元残留率1位は愛知、短期大学入学者の地元残留率1位は福岡

大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 愛知（76.6%）、2位 東京（72.9%）、3位 福岡（68.5%）

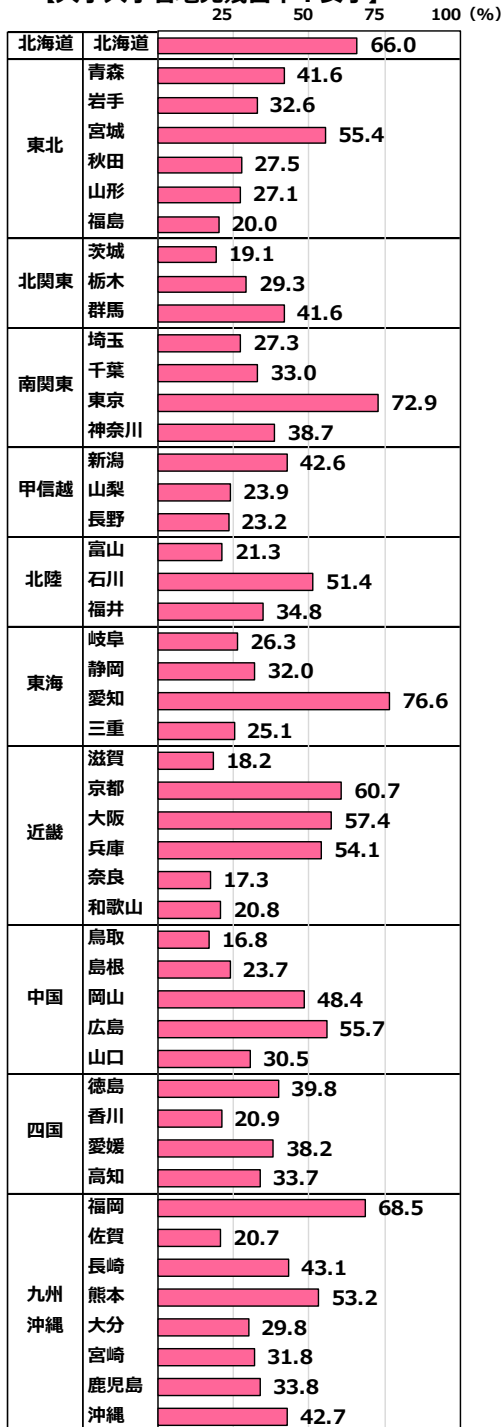
残留率が低いのは、1位 鳥取（16.8%）、2位 奈良（17.3%）、3位 滋賀（18.2%）

短期大学入学者地元残留率

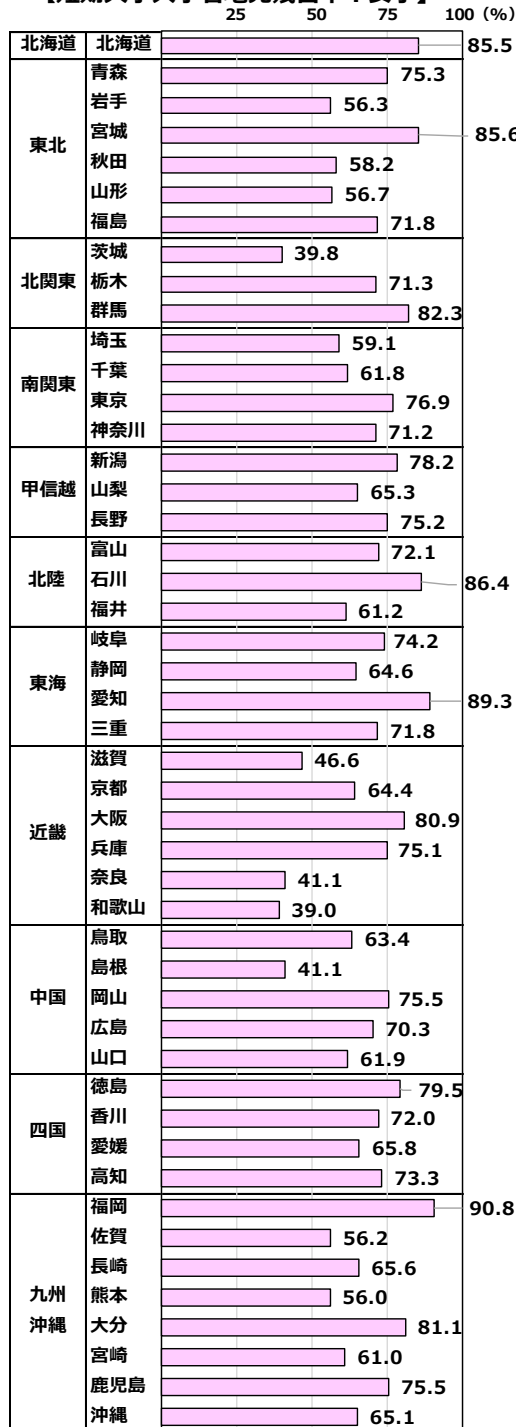
残留率が高いのは、1位 福岡（90.8%）、2位 愛知（89.3%）、3位 石川（86.4%）

残留率が低いのは、1位 和歌山（39.0%）、2位 茨城（39.8%）、3位 奈良・島根（41.1%）

【大学入学者地元残留率：女子】



【短期大学入学者地元残留率：女子】



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

■「象限④」（18歳人口減少率が高く地元残留率が低い）に多くの県が集まる

・全国平均でラインを引き4象限に分けると、以下の通りになる。

象限① 18歳人口減少率が低く、地元残留率が高い

：東京、福岡、熊本、愛知、大阪
 →人口が減少せず、地元にも残るため、県内募集は比較的しやすいセグメント。

象限② 18歳人口減少率が高く、地元残留率が高い

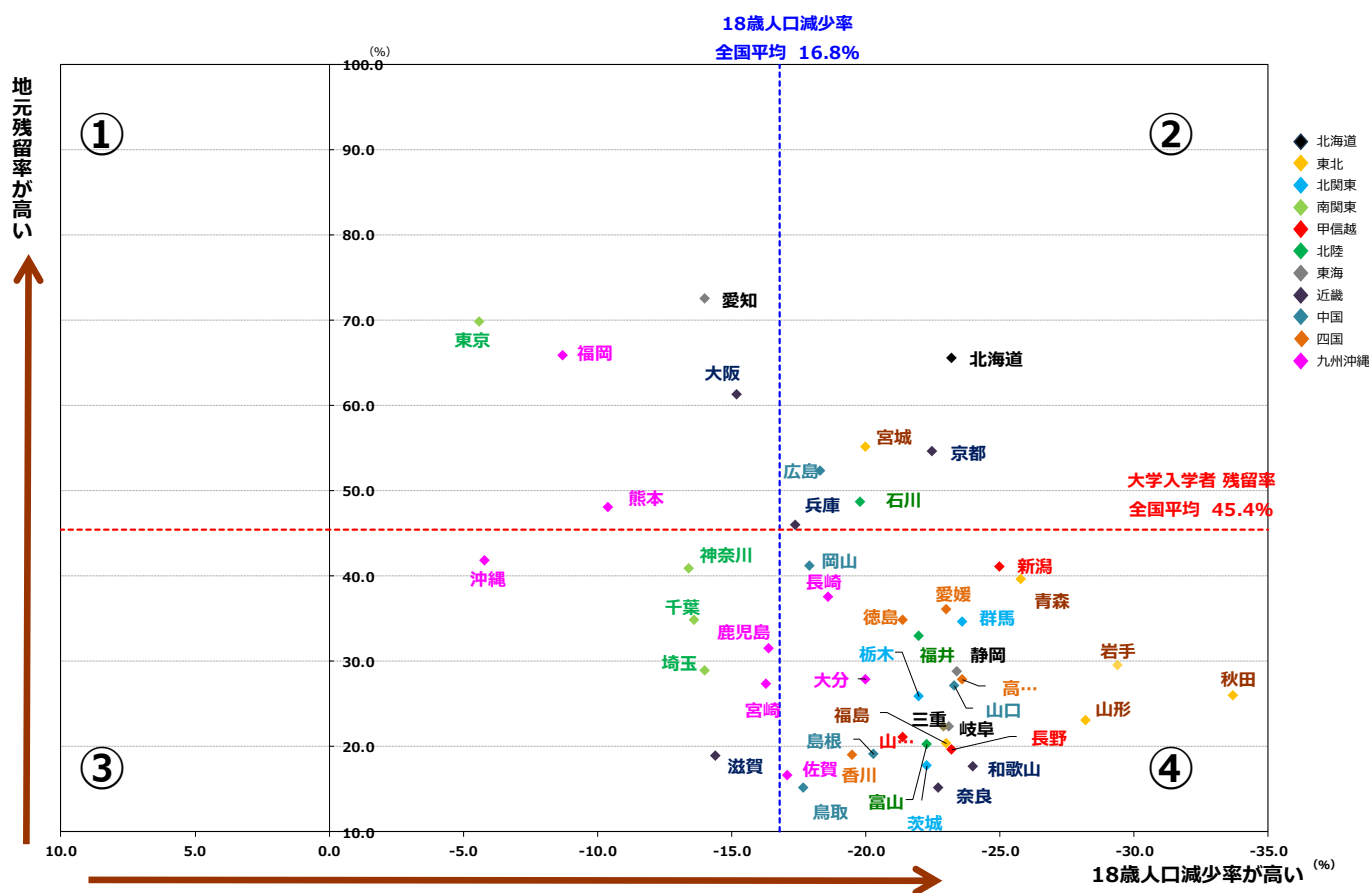
：北海道、広島、兵庫、京都、宮城、石川
 →18歳は比較的地元に残るが、マーケット自体が縮小するセグメント。

象限③ 18歳人口減少率が低く、地元残留率が低い

：沖縄、神奈川、千葉、埼玉、宮崎、鹿児島、滋賀
 →人口は大きくは減少しないものの、周辺県への流出が多いセグメント。

象限④ 18歳人口減少率が高く、地元残留率が低い

：その他の県
 →人口減少に加え地元にも残留しないため、地元募集だけでは厳しいセグメント。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

■ 大学進学者と比較すると、地元に残留する傾向が強い

- ・ 短期大学の特性として比較的地元密着の傾向が強く、大学進学者と比較すると地元残留率の平均が25.7ポイント高い。
- ・ 全国平均でラインを引き4象限に分けると、以下の通りになる。

象限① 18歳人口減少率が低く、地元残留率が高い

：東京、福岡、愛知、大阪、鹿児島
 →人口が減少せず、地元にも残るため、県内募集は比較的しやすいセグメント。

象限② 18歳人口減少率が高く、地元残留率が高い

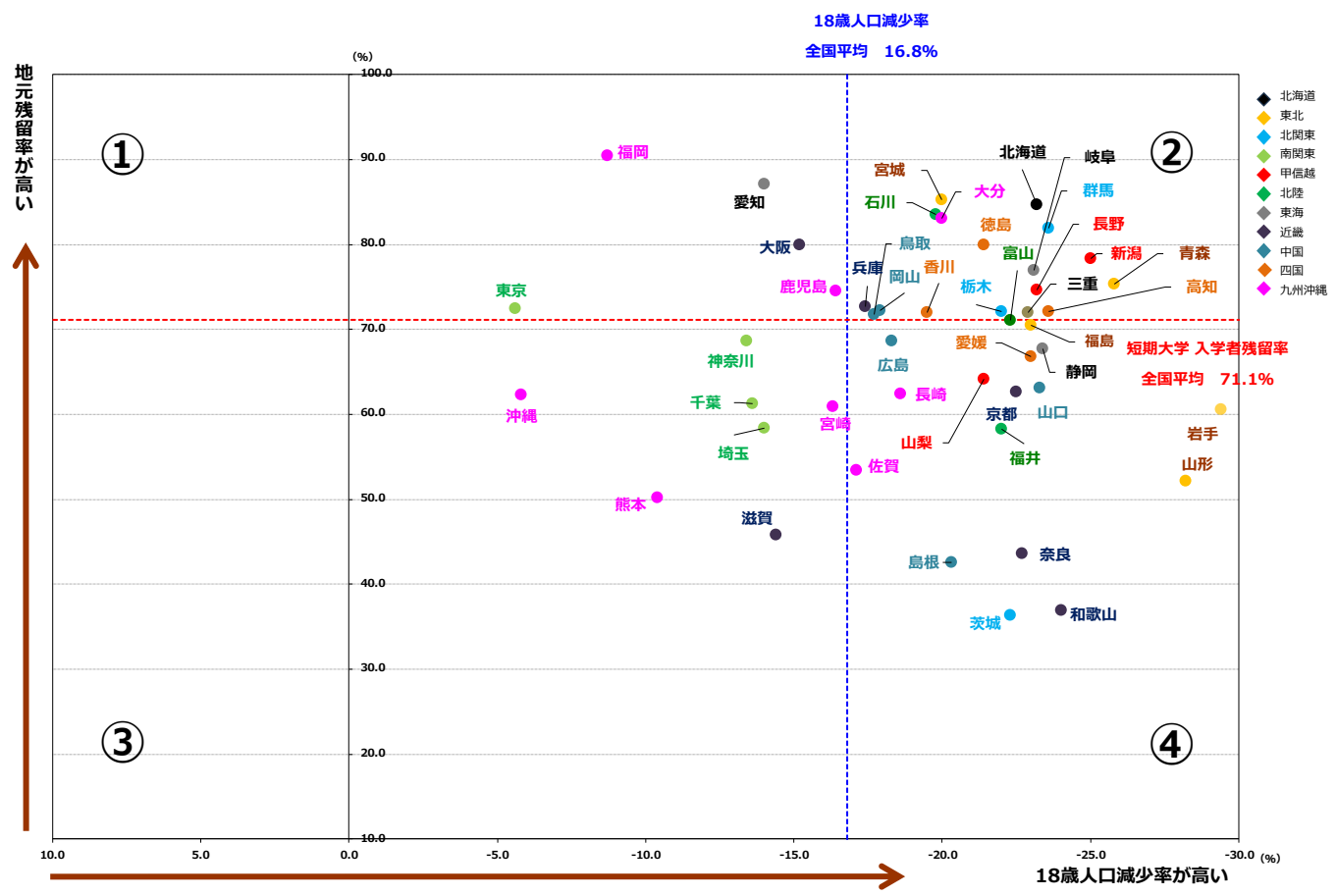
：宮城、石川、大分、兵庫、鳥取、岡山、徳島、香川、栃木、富山、岐阜、群馬、長野、新潟、三重、高知、青森、北海道
 →18歳は比較的地元に残るが、マーケット自体が縮小するセグメント。

象限③ 18歳人口減少率が低く、地元残留率が低い

：沖縄、神奈川、熊本、千葉、宮崎、埼玉、滋賀
 →人口は大きくは減少しないものの、周辺県への流出が多いセグメント。

象限④ 18歳人口減少率が高く、地元残留率が低い

：その他の府県
 →人口減少に加え地元にも残留しないため、地元募集だけでは厳しいセグメント。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」